

令和 8 年 度

橋 梁 補 修 工 事 ( 第 3 富 沢 橋 ・ 万 歳 橋 )

図 面

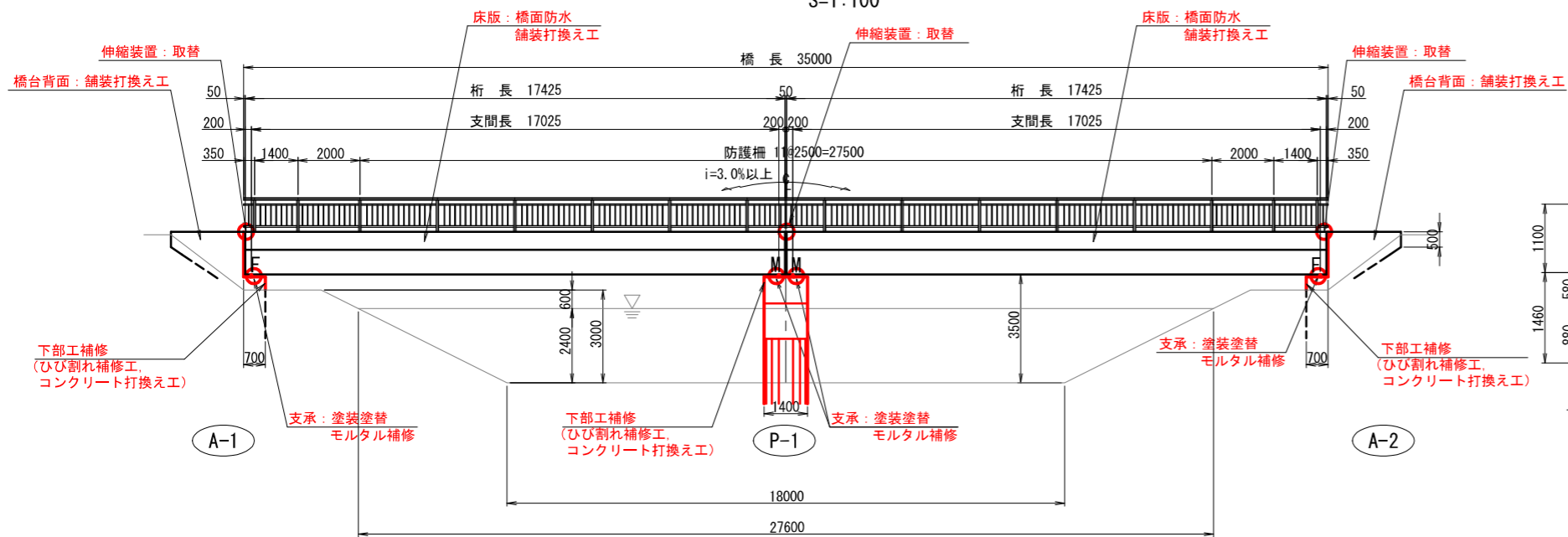
 余 市 町

# 補修一般図

## 【第3富沢橋】

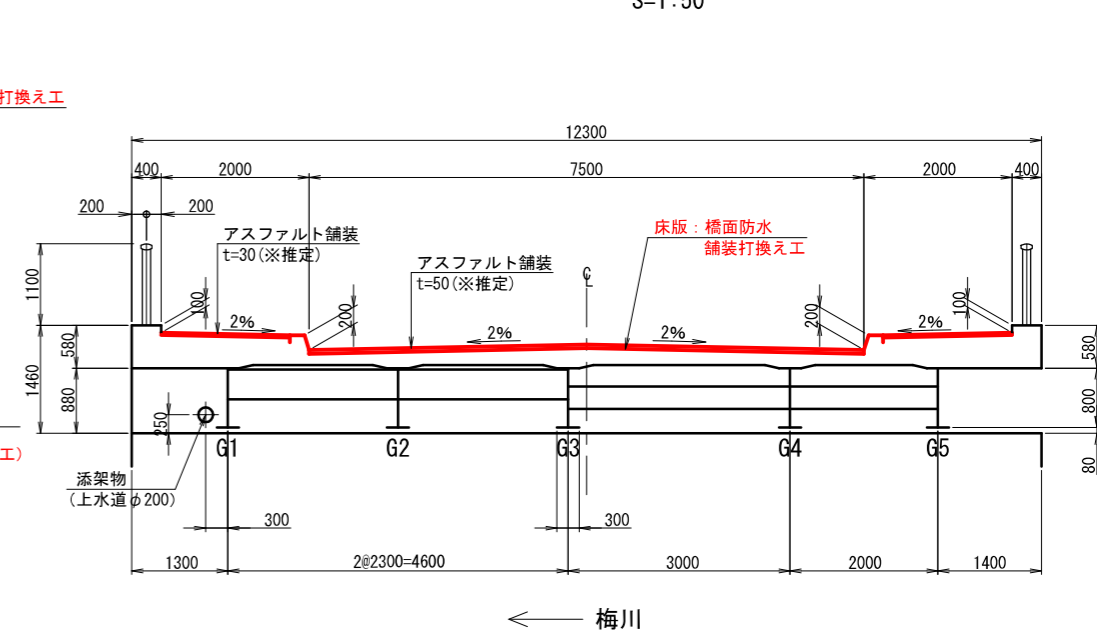
### 側面図

S=1:100



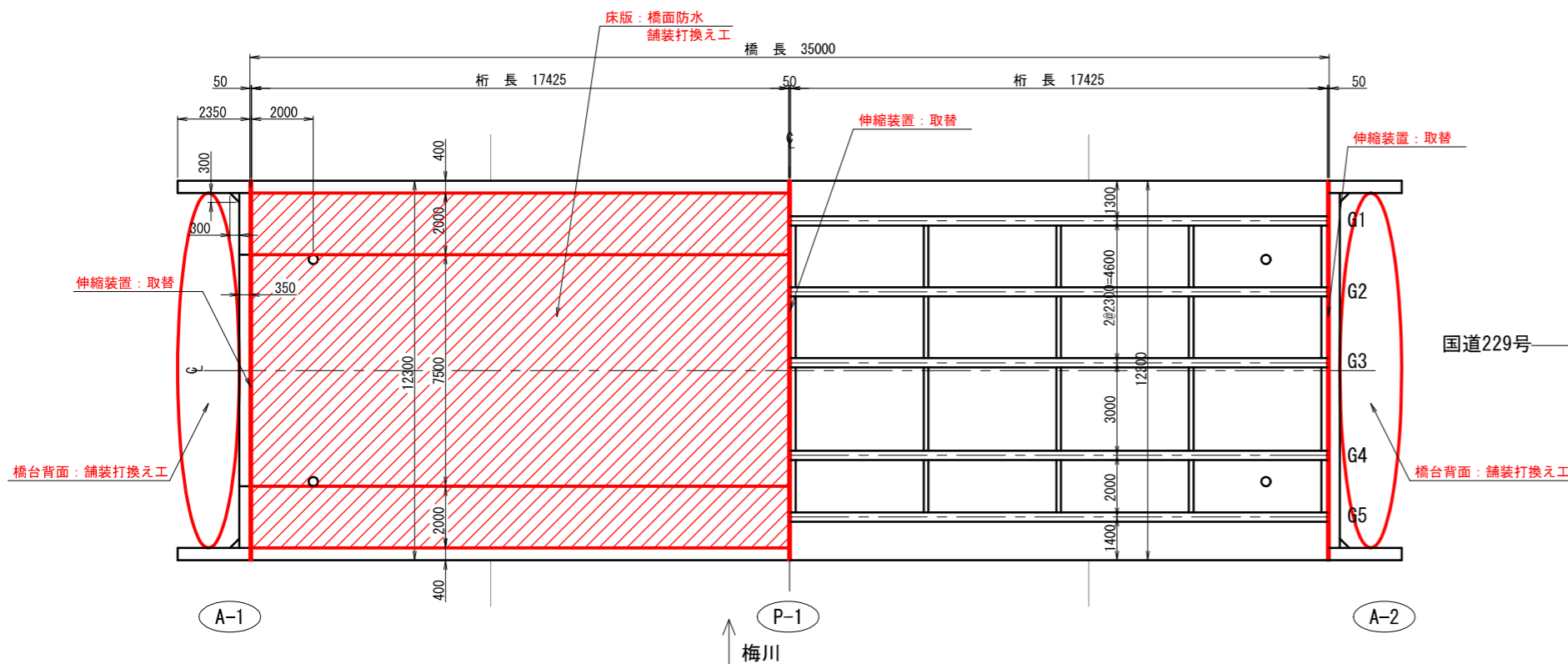
### 断面図

S=1:50



### 平面図

S=1:100



### 補修項目

補修箇所		補修内容	
下部工	A-1, P-1, A-2	ひび割れ補修工	有機系材料
	A-1, P-1, A-2	コンクリート打換え工	RC-4 (膨脹材入り)
支承	全支承	塗装塗替工	RC-I
	A1-G2~G5、P1-G2~G4 (BP)、P1-G3~G4 (EP)、A2-G4	モルタル打換え工	無収縮モルタル
伸縮装置	A-1, P-1, A-2	伸縮装置取替	突合せ型
橋面	全面	橋面防水工	塗膜系防水層
		舗装打換え工	アスファルト舗装
舗装	橋台背面	舗装打換え工	アスファルト舗装

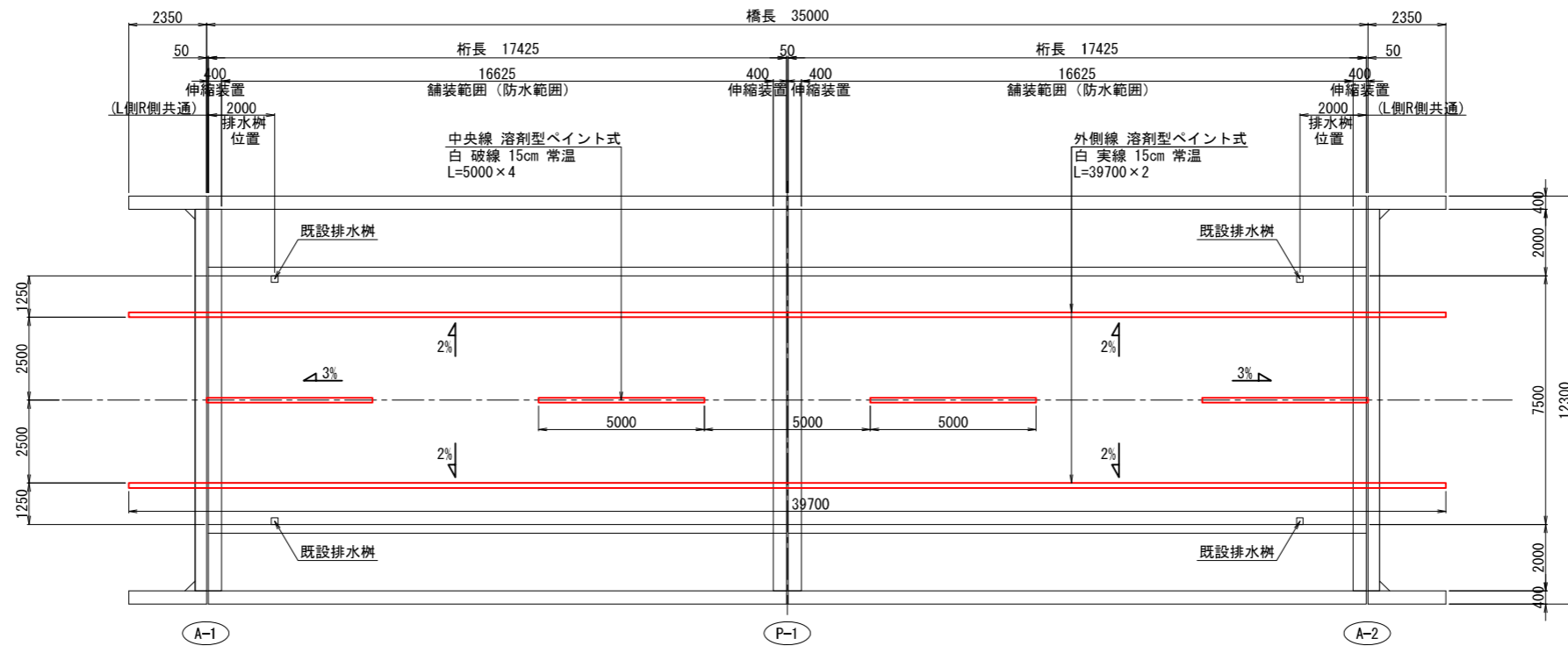
### 特記事項

・当一般図は簡易計測による復元図であるため、施工前に現地実測確認を行うこと。

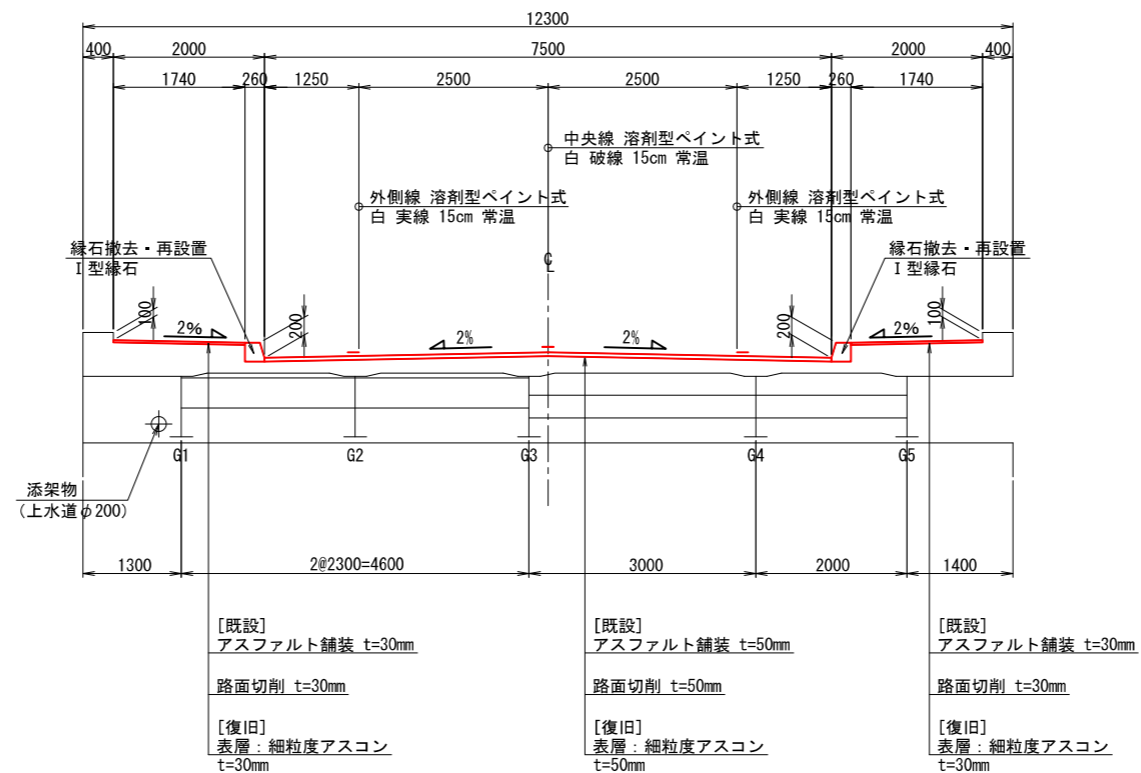
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	補修一般図
作成年月日	令和5年 月 日
縮尺	図示 図面番号 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 舗装工 【第3富沢橋】

平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



### 特記事項

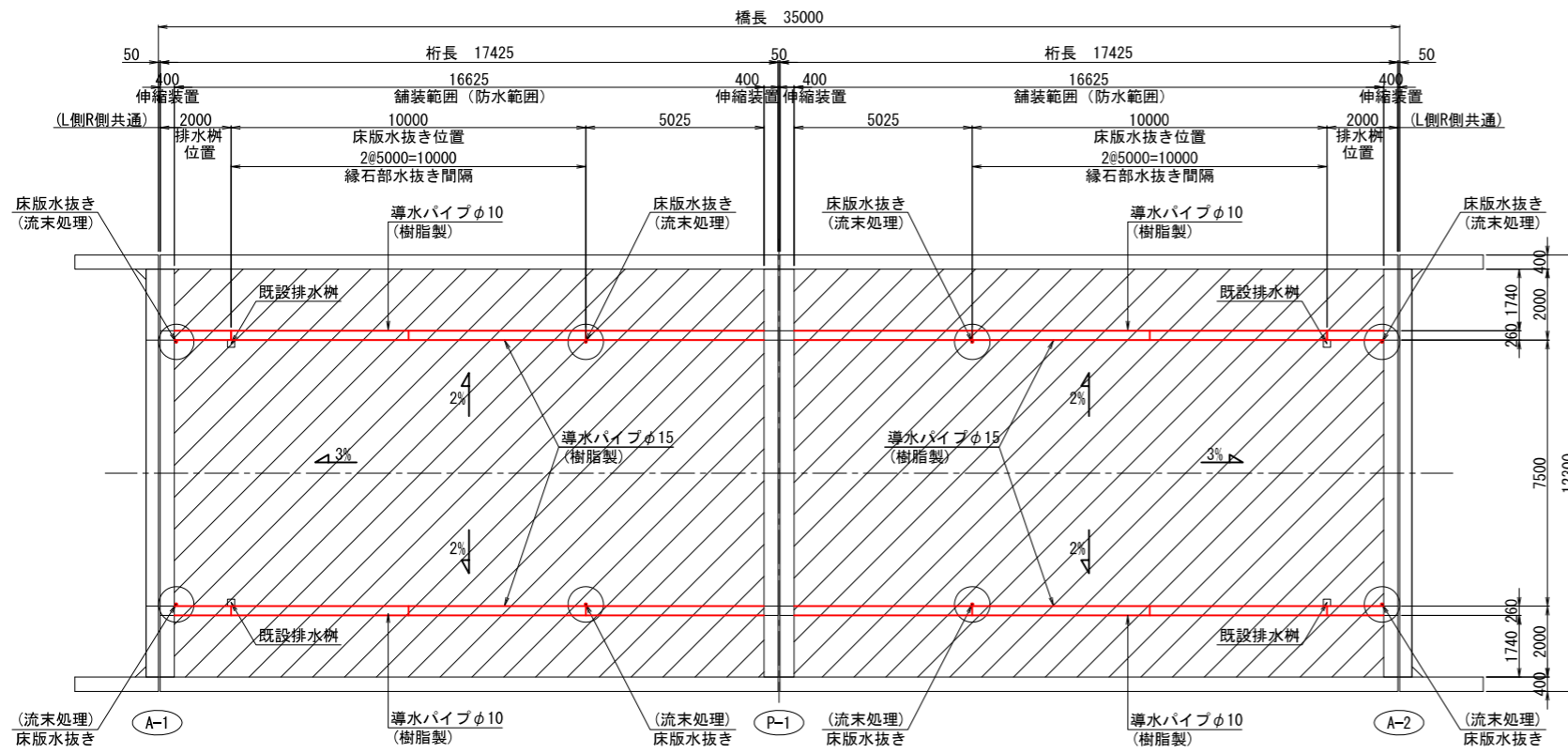
- ・ 施工に先立ち現地計測にて既設構造寸法を確認し、本図と異なる場合は適宜変更のこと。
- ・ 縦横断勾配による長さの差は、現寸にて決定のこと。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)		
図面名	舗装工		
作成年月日	令和 5 年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	3 /
会社名	HRS株式会社		
事務所名	余 市 町		

# 橋面防水工図

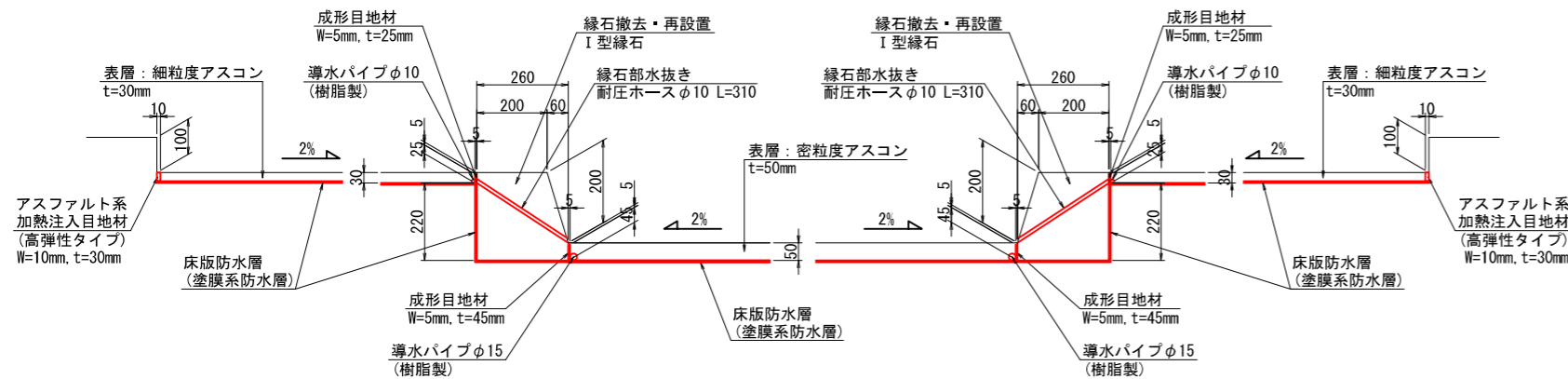
## 【第3富沢橋】

平面図 S=1:100

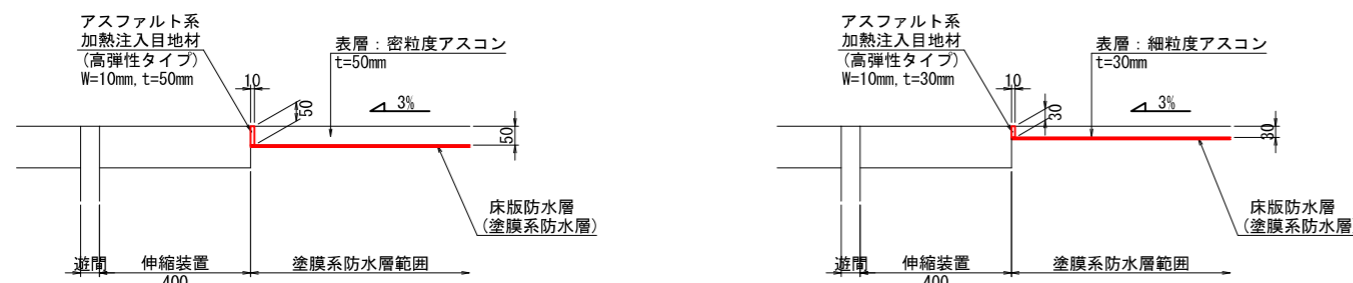


床版防水層詳細図 S=1:10

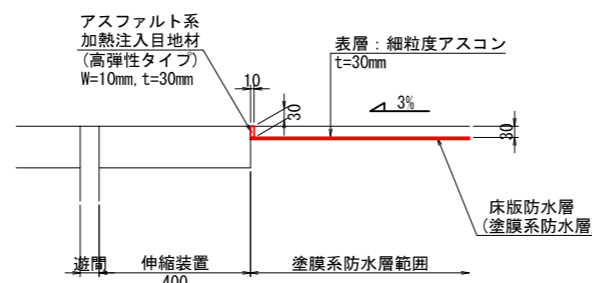
### 地覆部・縁石部



### 伸縮装置部



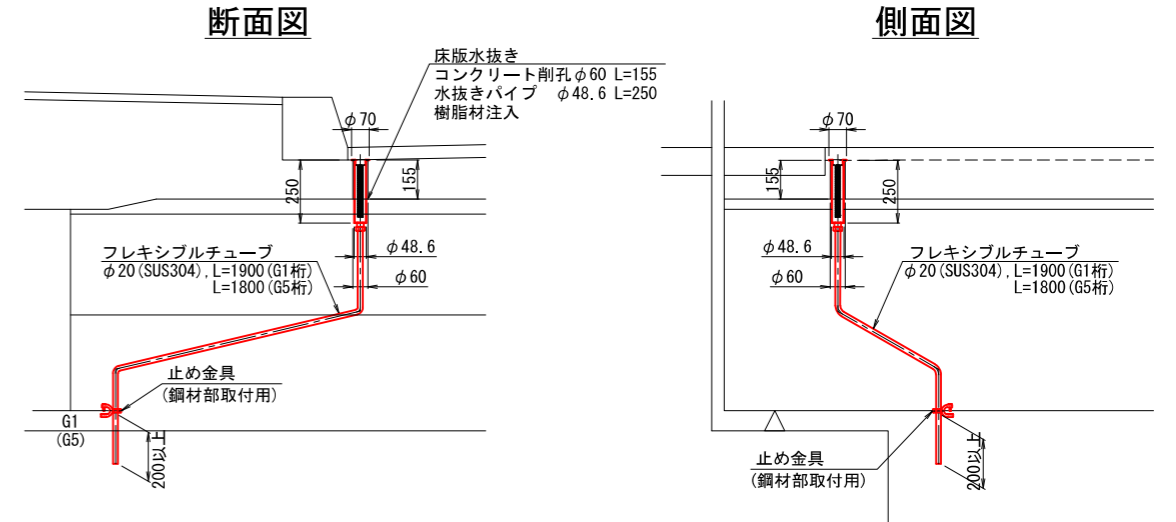
### <歩道部>



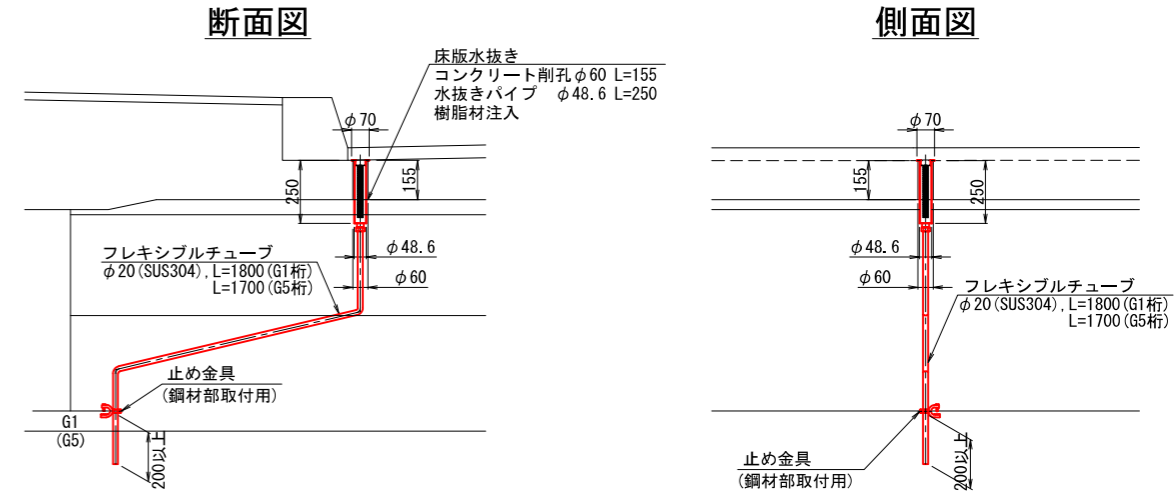
水抜き詳細図 S=1:15

(参考図)

### <桁端部>

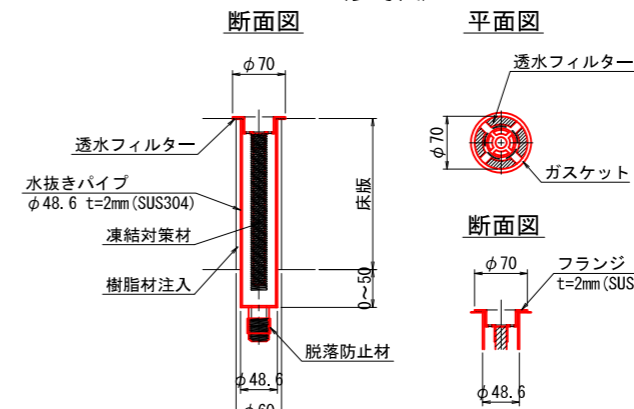


### <中間部>

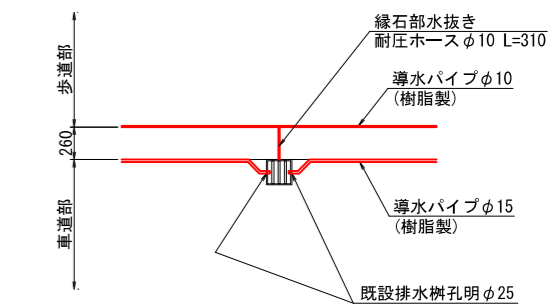


水抜きパイプ詳細図 S=1:5

(参考図)



排水樹部詳細図 S=1:30



※縁石部水抜きパイプは、排水樹位置及び縁石の目地に配置すること。

### 特記事項

- ・施工に先立ち現地計測にて既設構造寸法を確認し、本図と異なる場合は適宜変更のこと。
- ・縦横断寸法による長さの差は、現寸にて決定のこと。
- ・排水樹寸法及び位置は事前に確認すること。
- ・橋面防水工の重ね塗りは、W=100mm程度設けること。
- ・コンクリート削孔時に既設鉄筋を切断しないこと。

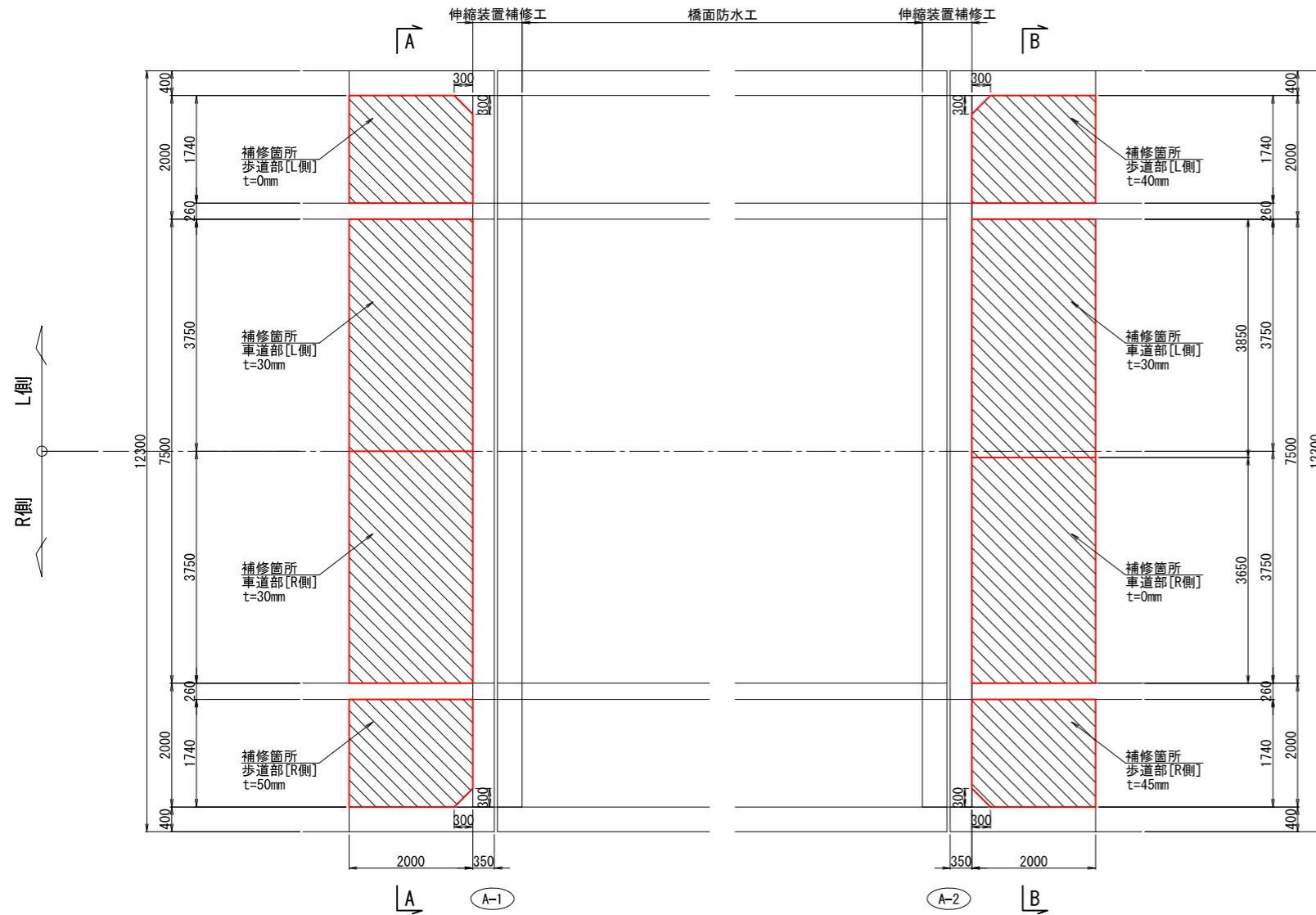
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	橋面防水工図
作成年月日	令和 5 年 月 日
縮尺	図示 図面番号 4 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 橋台背面舗装補修図

S=1:50

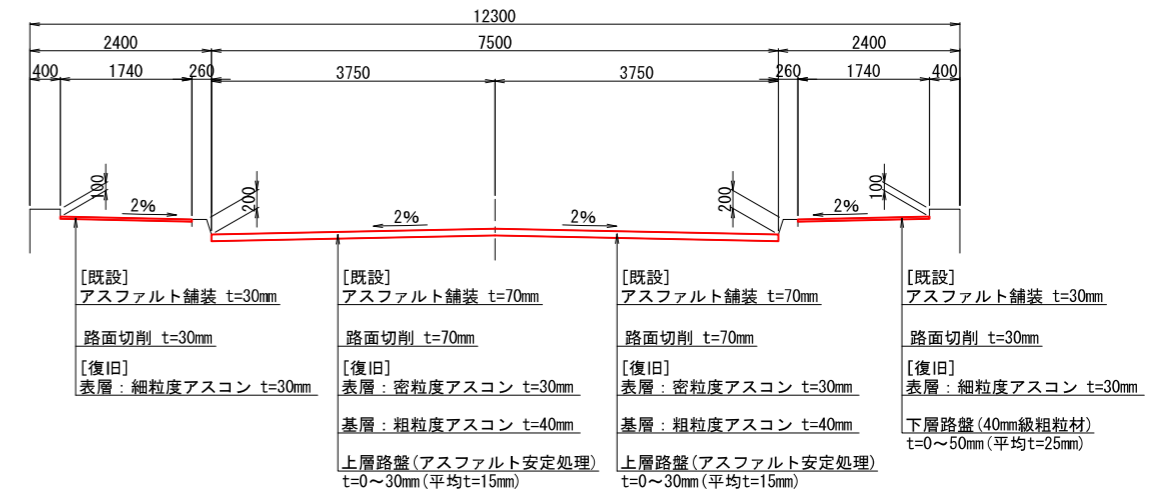
## 【第3富沢橋】

### 平面図

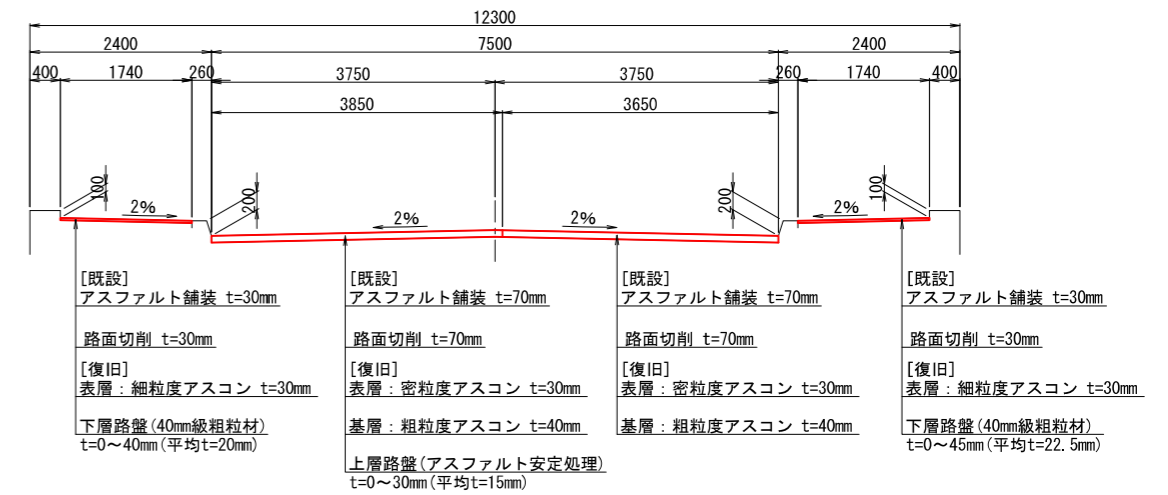


### 断面図

#### A - A (A-1側)



#### B - B (A-2側)

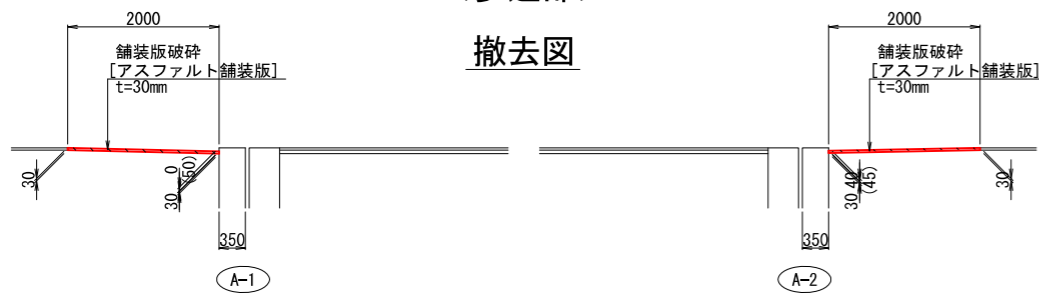


### 舗装擦り付け図

※ ( )内はR側の値を示す

#### <歩道部>

##### 撤去図



##### 復旧図



#### <車道部>

##### 撤去図



##### 復旧図



### 特記事項

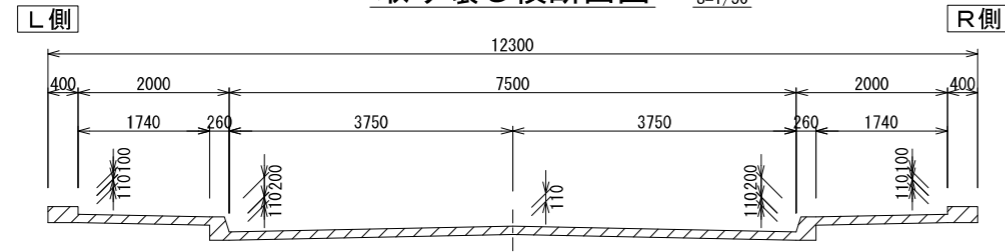
- ・施工に先立ち現地計測にて既設構造寸法を確認し、本図と異なる場合は適宜変更のこと。
- ・縦横断面勾配による長さの差は、現寸にて決定のこと。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	橋台背面舗装補修図
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 5 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

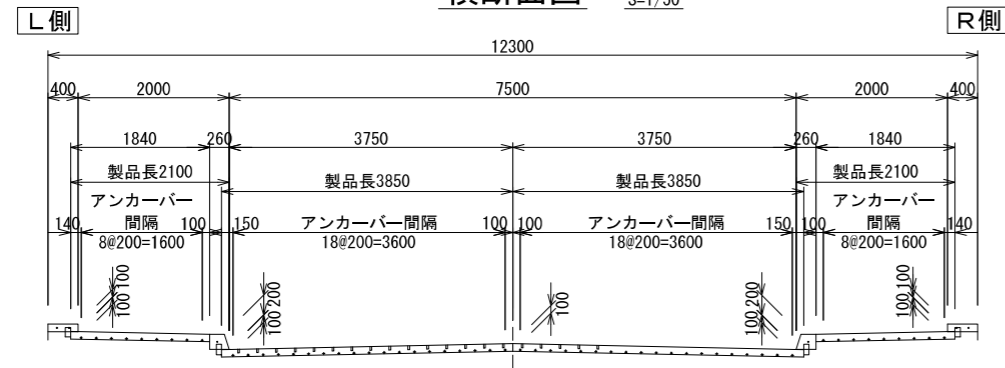
# 伸縮装置図(1)(参考図)

【 第3富沢橋 】

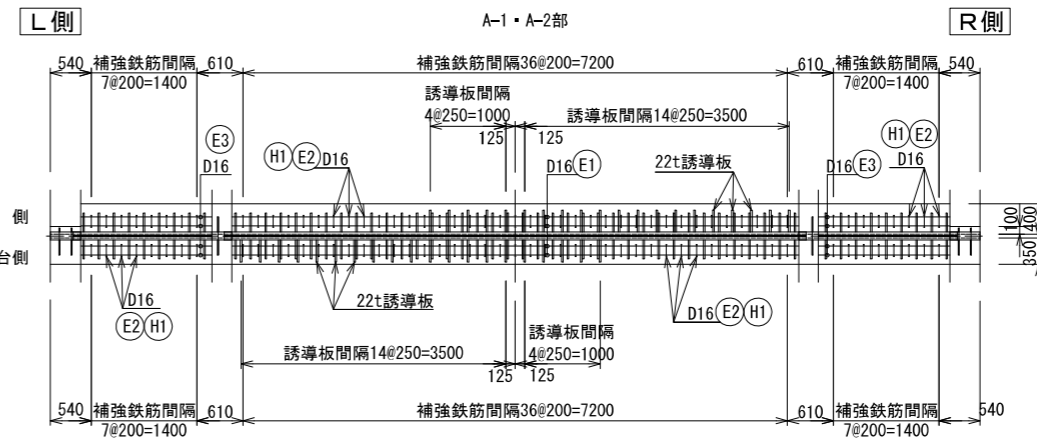
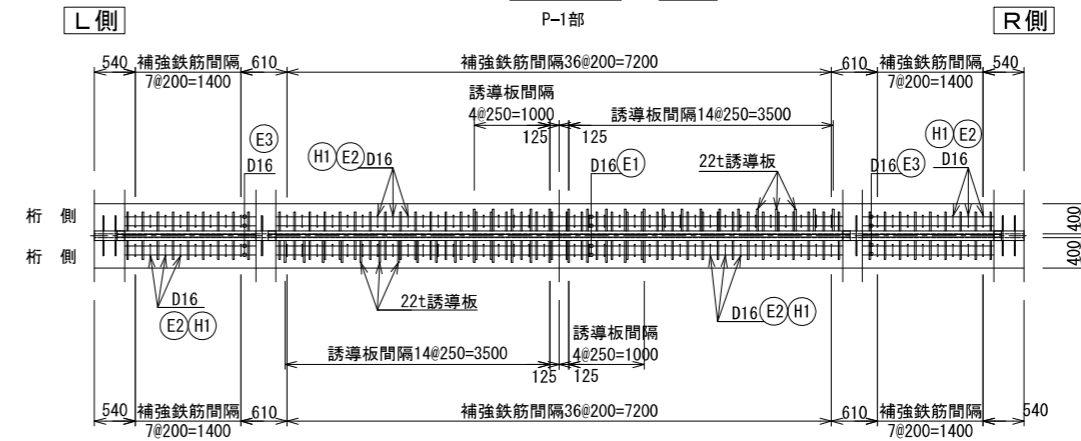
取り壊し横断面図 S=1/50



横断面図 S=1/50



平面図 S=1/50

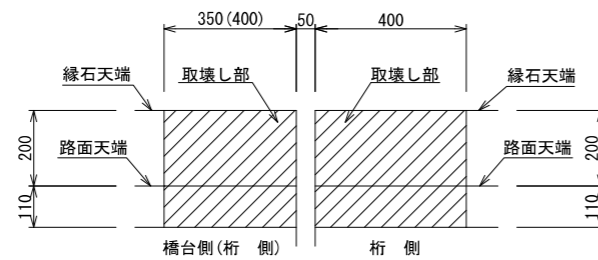


床板切欠き図 S=1/10

※詳細寸法等は現地検測後決定とする。

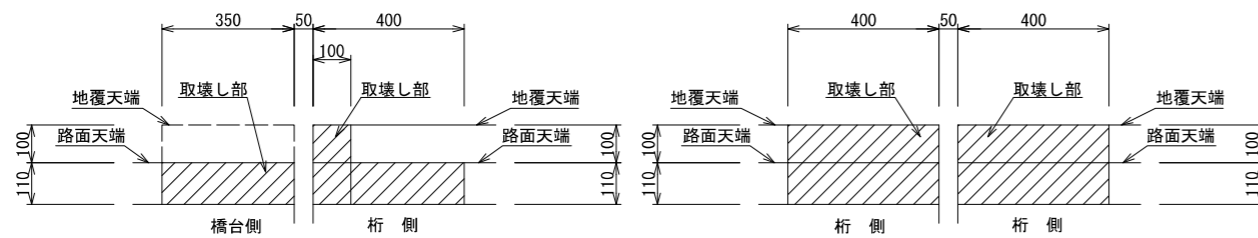
車道部

※( )内はP-1部を示す。



A-1・A-2歩道部

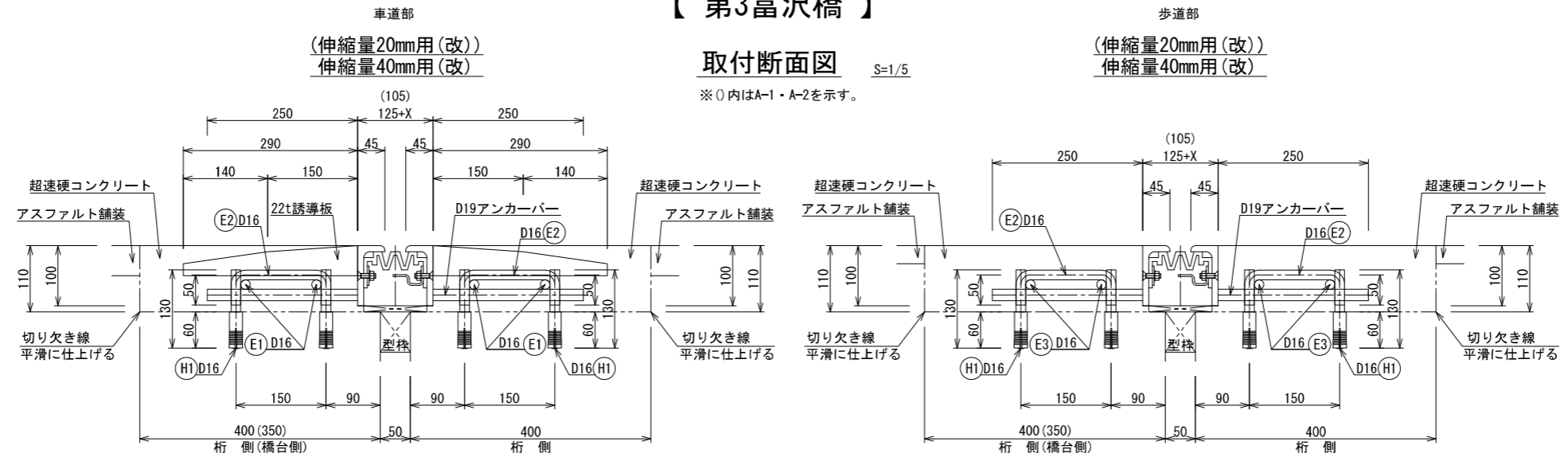
P-1歩道部



工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	伸縮装置図(1)(参考図)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 6 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

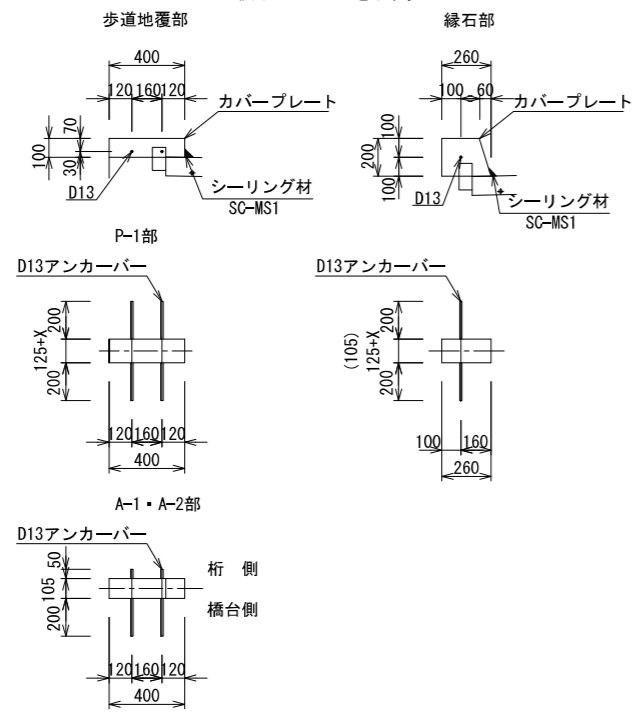
# 伸縮装置図(2) (参考図)

## 【第3富沢橋】

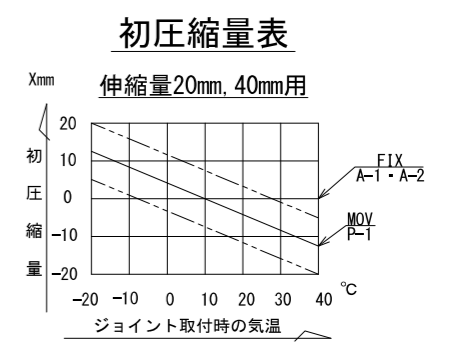
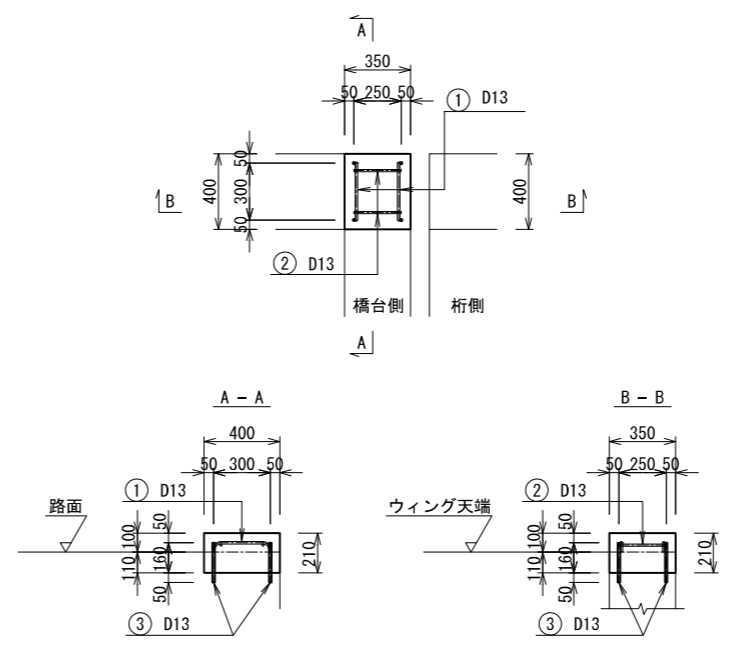


### 地覆部詳細図 S=1/20

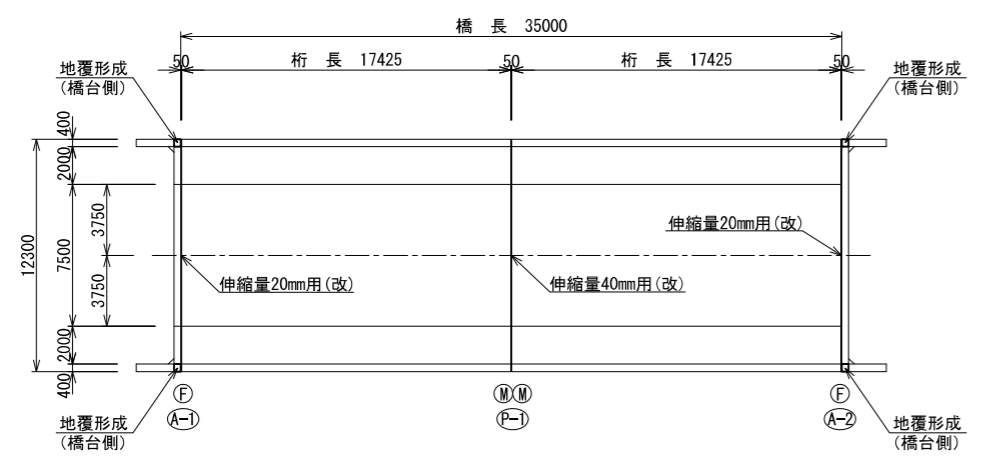
※()内はA-1・A-2を示す。



### 地覆形成(橋台側)詳細図 S=1/20

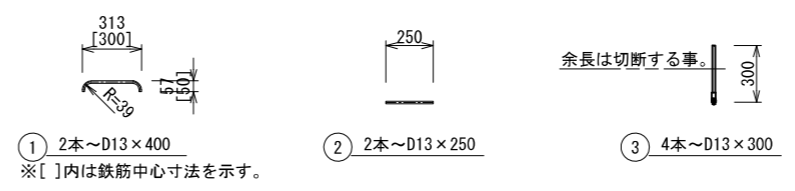


### 配置図 S=1/200



### 地覆鉄筋加工図

1箇所当たり



### 地覆鉄筋材料表

適用記号	断面	単尺	単重	1本当重量	員数	重量	適用
1	φ D13	400	0.995	0.398	2	0.8	差筋アンカー
2	φ D13	250	0.995	0.249	2	0.5	
3	φ D13	300	---	---	4	---	
総重量						1.3	kg
全箇所合計(4箇所)						5.2	kg

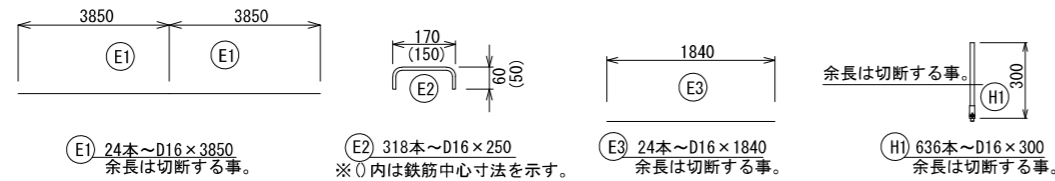
※上記、地覆鉄筋は伸縮継手に含まない。現場手配とする。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	伸縮装置図(2) (参考図)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 7 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 伸縮装置図(3)(参考図)

## 【第3富沢橋】

### 補強鉄筋加工図



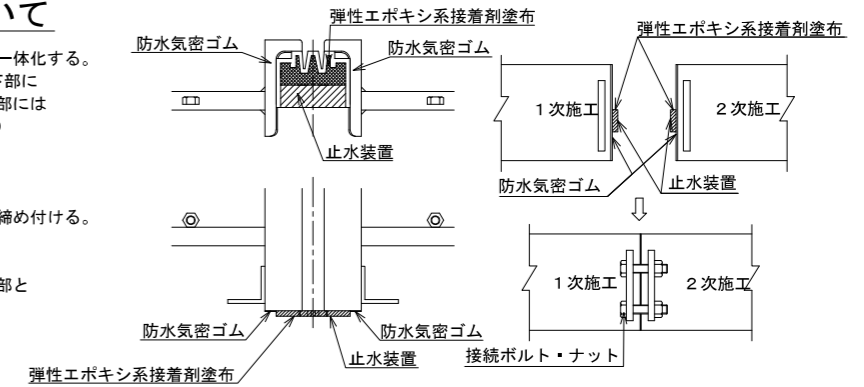
### 伸縮装置の現場接続方法について

※伸縮装置納入時は車道センターライン（橋梁中心）より一体化する。（接続部の両側には止水装置が止水ゴム（伸縮ゴム）の下部に取付けられている。また、緑石側・地覆側の伸縮装置端部には立上止水装置が取付けられていることに留意すること。）

1. 止水装置の全面、および立上止水装置の側板外側に弾性エポキシ系接着剤を塗布する。
2. 接続ボルトを双方の止水装置が圧着するまで左右均等に締め付ける。
3. 緑石・地覆伸縮装置を弾性エポキシ系接着剤を塗布した端部立上止水装置の上から、挟み込む様に取付け、地覆部と本体伸縮装置の接触面を点溶接した後、点溶接側の隙間部分にエポキシ系接着剤を塗布する。

※詳細は、製品付属の「施工要領書」を参照の事。

### 伸縮装置接手部



### 伸縮装置材料表

型式	単尺	本数	長さ	適用
伸縮量20mm用(改)	3850	4	15400	A1・A2車道部
〃	2100	4	8400	A1・A2歩道部(緑石一体型)
〃	400	4	1600	A1・A2歩道地覆部
合計---			25m400	
伸縮量40mm用(改)	3850	2	7700	P1車道部
〃	2100	2	4200	P1歩道部(緑石一体型)
〃	400	2	800	P1歩道地覆部
合計---			12m700	
誘導板	290×50×22t		120枚	
シーリング材	SC-MS1 200ml×12ヶ所		2400ml/本 8本使用	

### 補強鉄筋材料表

適用	記号	断面	単尺	単重	1本当重量	員数	重量	備考
E1	φ	D16	3850	1.560	6.006	24	144.1	
E2	φ	D16	250	1.560	0.390	318	124.0	
E3	φ	D16	1840	1.560	2.870	24	68.9	
H1	φ	D16	300	---	---	636	---	差筋アンカー
総重量---							337.0kg	

※上記、補強鉄筋は伸縮継手に含まない。現場手配とする

### 工事仕様

1. H1鉄筋は橋台・床版を切欠き後、打ち込むこと。
2. 鉄筋の余長は切断すること。
3. 補強鉄筋の接合部は全て現場溶接とする。
4. 補強鉄筋は全て現場手配とする。
5. 地覆の重なり部はシーリングすること。
6. Xの値は初圧縮量表を参照する事。

### 工事数量表

切 断(車道部t=50)	7500×2本×3ヶ所	45.00m
〃 (歩道部t=50)	1740×2本×6ヶ所	20.88m
〃 (緑石部t=50)	260×2本×6ヶ所	3.12m
〃 (歩道地覆部t=50)	400×2本×6ヶ所	4.80m
合計---		73.80m
取 壊し(車道部t=110)	7500×110×350×2ヶ所+7500×110×400×4ヶ所	1.90m³
〃 (歩道部t=110)	1740×110×350×4ヶ所+1740×110×400×8ヶ所	0.88m³
〃 (緑石部t=310)	260×310×350×4ヶ所+260×310×400×8ヶ所	0.37m³
〃 (歩道地覆部t=110)	400×110×350×4ヶ所	0.06m³
〃 (歩道地覆部t=210)	400×210×100×4ヶ所+400×210×400×4ヶ所	0.17m³
合計---		3.38m³
既設伸縮装置撤去	12300×3ヶ所	36.90m
伸縮装置取付	(3850+2100+400)×2×3ヶ所	38.10m
超速硬コンクリート(車道部t=110)	7500×110×350×2ヶ所+7500×110×400×4ヶ所	1.90m³
〃 (歩道部t=110)	1740×110×350×4ヶ所+1740×110×400×8ヶ所	0.88m³
〃 (緑石部t=310)	260×310×350×4ヶ所+260×310×400×8ヶ所	0.37m³
〃 (歩道地覆部t=210)	400×210×350×4ヶ所+400×210×100×4ヶ所+400×210×400×4ヶ所	0.29m³
合計---		3.44m³

### 特記事項

- ・施工関連諸寸法は、現地実測により決定する事。
- ・既設伸縮装置撤去の際は、床版を取り壊さないようにする事。
- ・工事発注後は現橋を十分確認の上、数量等を精査の事。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	伸縮装置図(3)(参考図)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 8 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

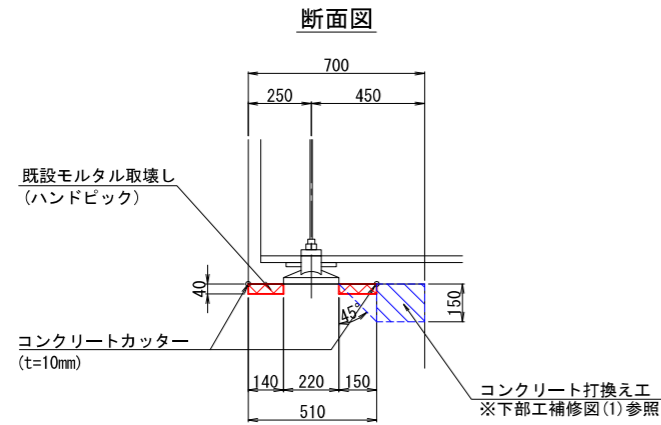


# 支承補修図(2)

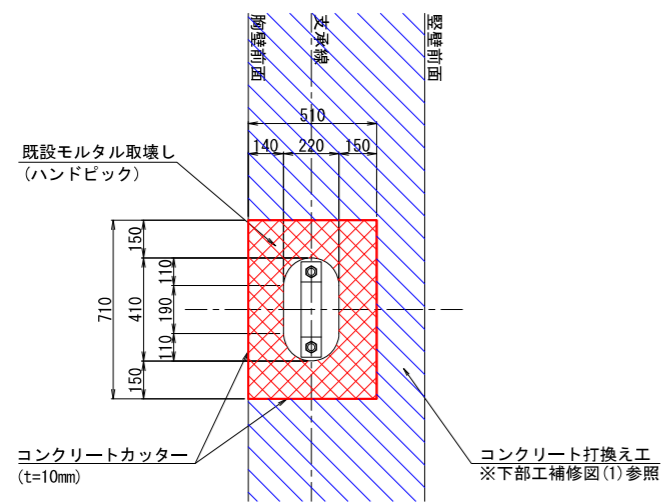
## 【第3富沢橋】

<A1-G3>

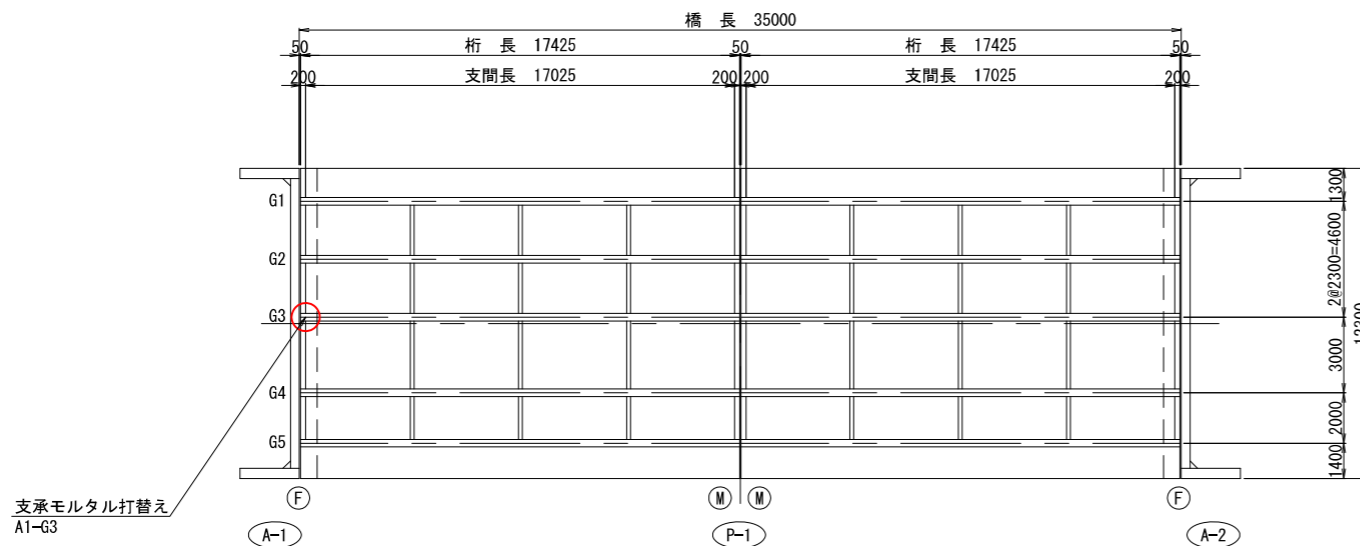
支承モルタル撤去 S=1:15



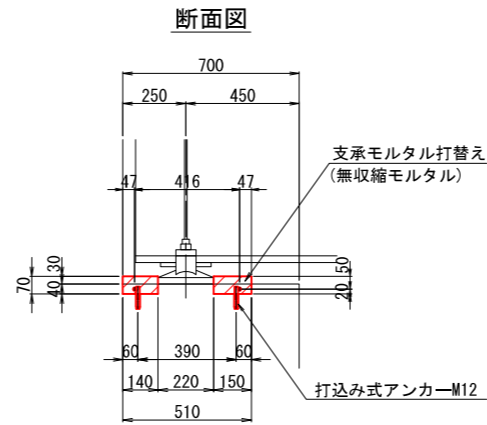
断面図



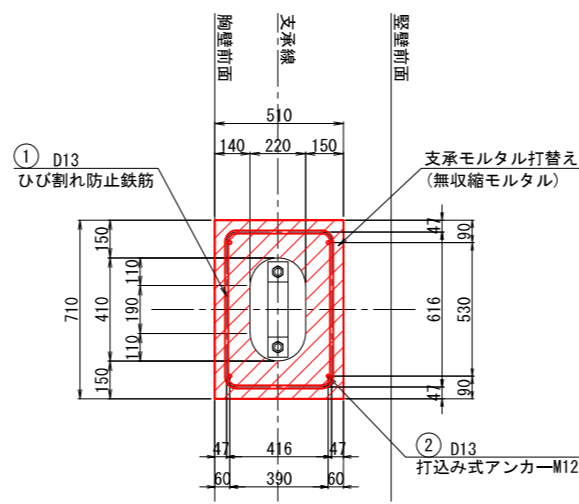
位置図 S=1:150



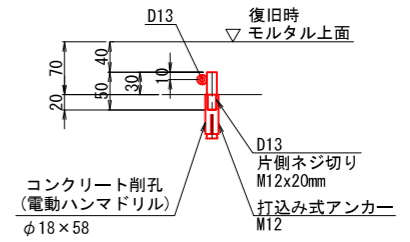
支承モルタル復旧 S=1:15



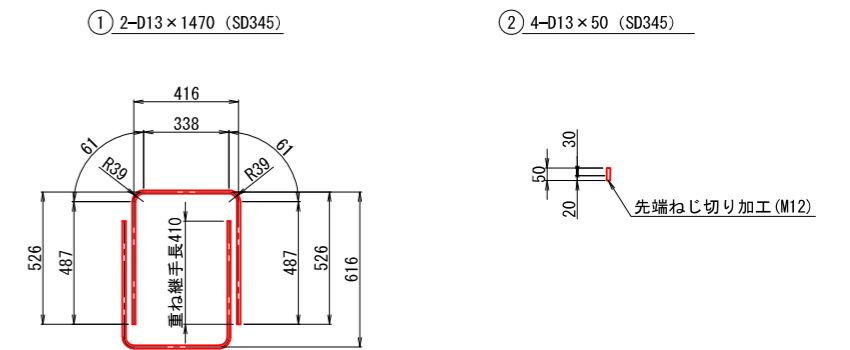
断面図



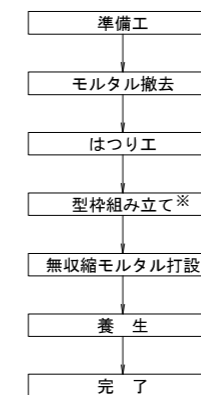
打込み式アンカー詳細図 S=1:5



鉄筋加工図 S=1:15



### 支承モルタル打替え工施工手順



※型枠組み立て前、腐食部分は除去すること。

### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・支承サイズは、主桁サイズより製品カタログをもとに想定。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。
- ・支承の固定、可動は現地確認のこと。
- ・ナットの緩みは、モルタル補修時に適宜締付け直すこと。
- ・無収縮モルタルは、製造メーカーの仕様・施工方法に従い、必要に応じて交通規制や保温養生を行うこと。
- ・打込み式アンカーの位置は、施工可能な位置に設置することとし、指定するものではない。
- ・橋座コンクリート打換え範囲に隣接する支承モルタルについては、施工時の支承部安全性の観点から、補修深さに合わせて、支承部より150mmまでのモルタル打替え範囲とする。

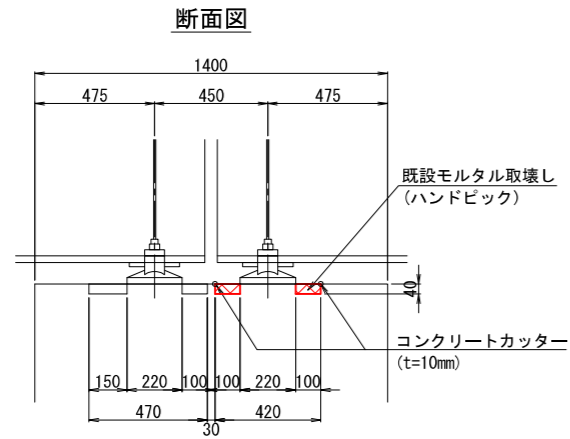
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	支承補修図(2)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 11 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 支承補修図(3)

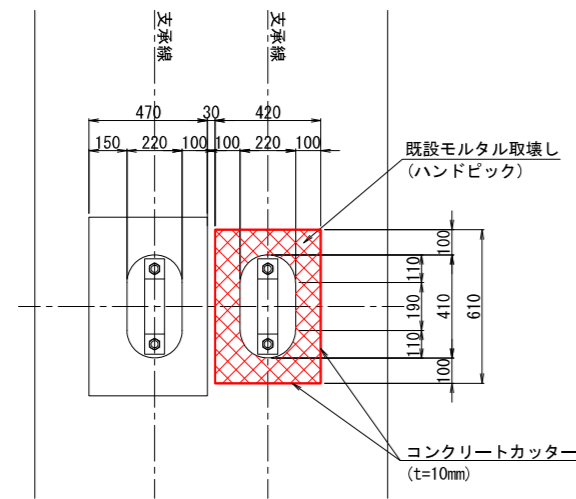
## 【第3富沢橋】

<P1-G2(BP), P1-G3・G4(EP)>

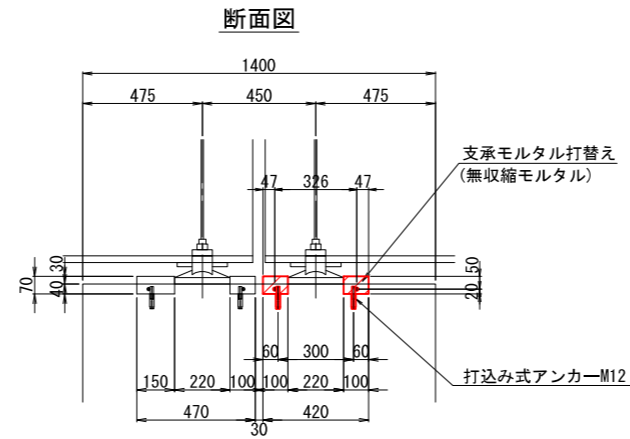
支承モルタル撤去 S=1:15



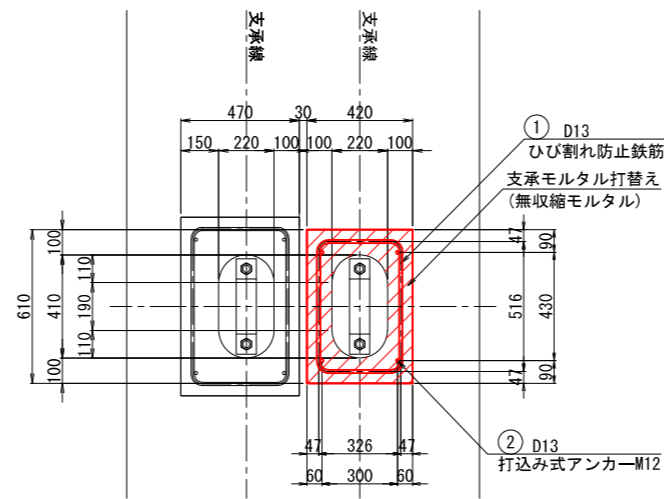
平面図



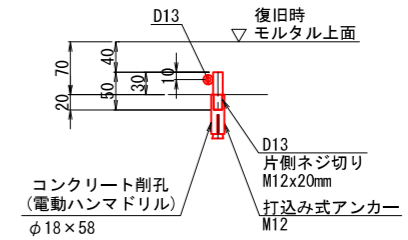
支承モルタル復旧 S=1:15



平面図



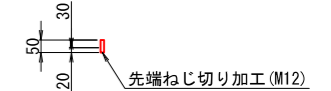
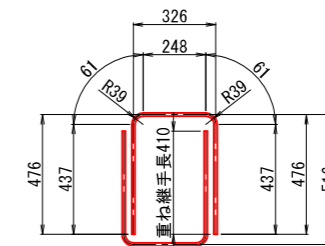
打込み式アンカー詳細図 S=1:5



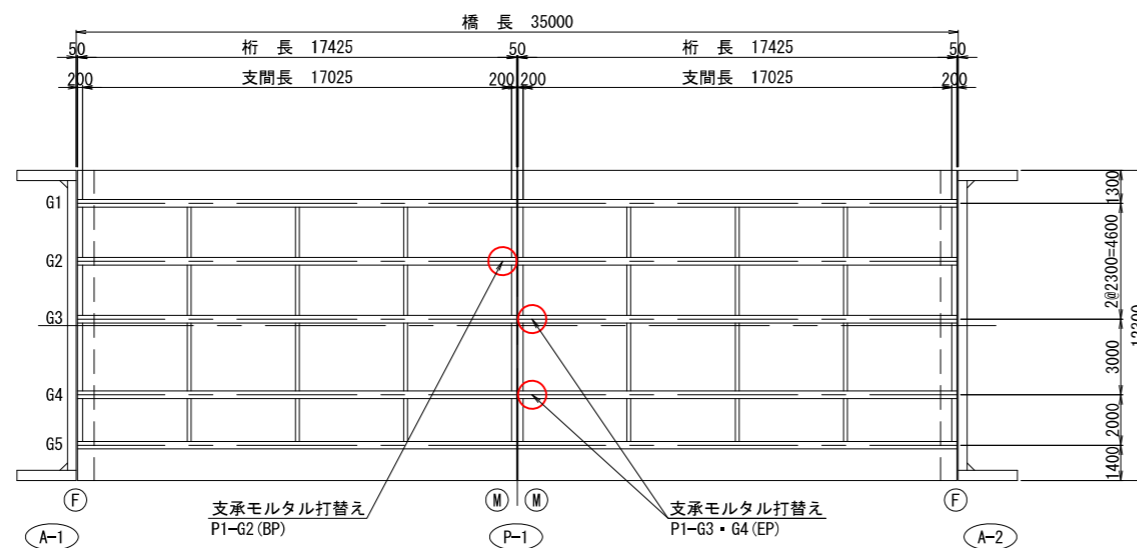
鉄筋加工図 S=1:15

① 2-D13×1280 (SD345)

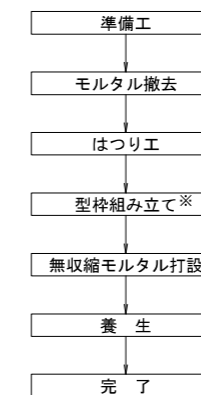
② 4-D13×50 (SD345)



位置図 S=1:150



支承モルタル打替え工程施工手順



※型枠組立前に、腐食部分は除去すること。

### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・支承サイズは、主桁サイズより製品カタログをもとに想定。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。
- ・支承の固定、可動は現地確認のこと。
- ・ナットの緩みは、モルタル補修時に適宜締め直すこと。
- ・無収縮モルタルは、製造メーカーの仕様・施工方法に従い、必要に応じて交通規制や保温養生を行うこと。
- ・打込み式アンカーの位置は、施工可能な位置に設置することとし、指定するものではない。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	支承補修図(3)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 12 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 支承補修図(4)

## 【第3富沢橋】

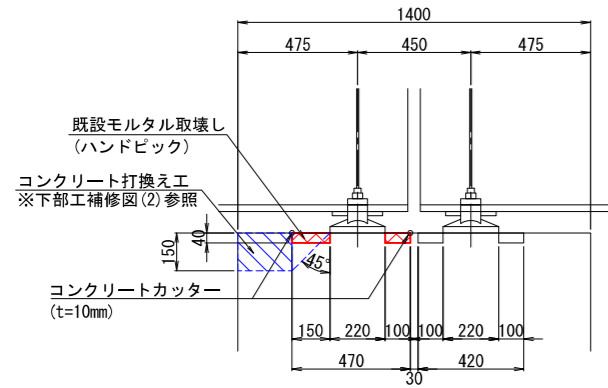
<P1-G3・G4(BP)>

### 支承モルタル復旧 S=1:15

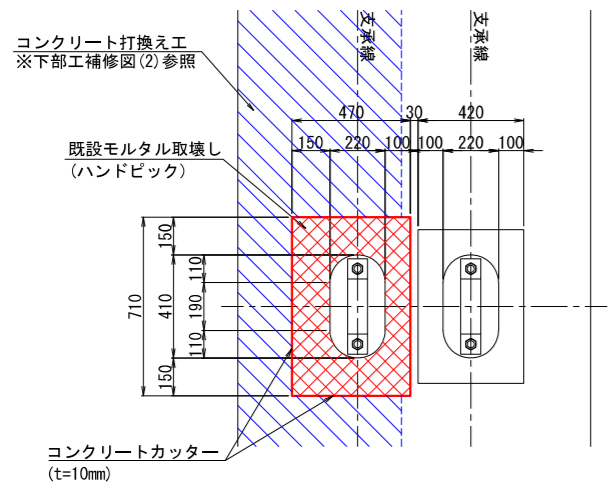
### 支承モルタル撤去 S=1:15

### 打込み式アンカー詳細図 S=1:5

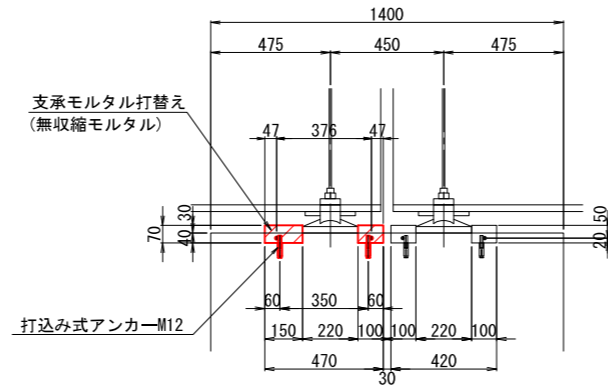
断面図



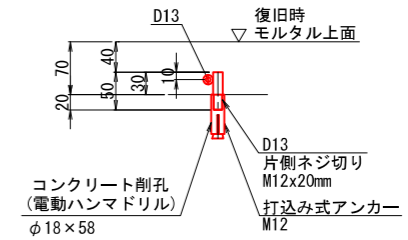
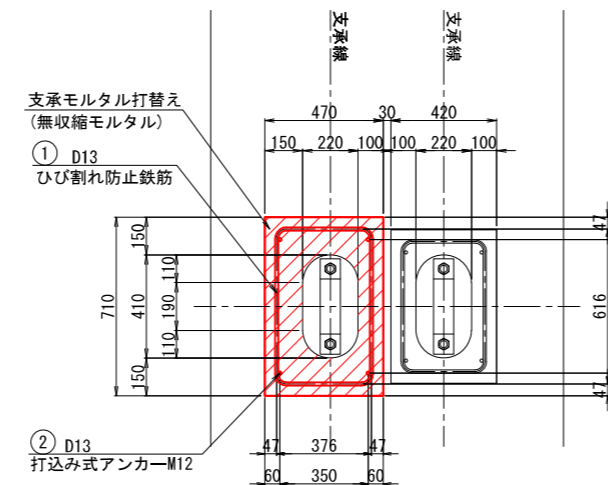
平面図



断面図



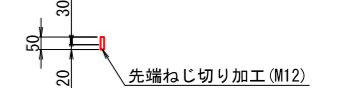
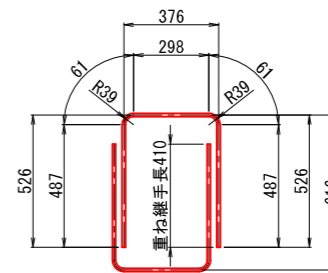
平面図



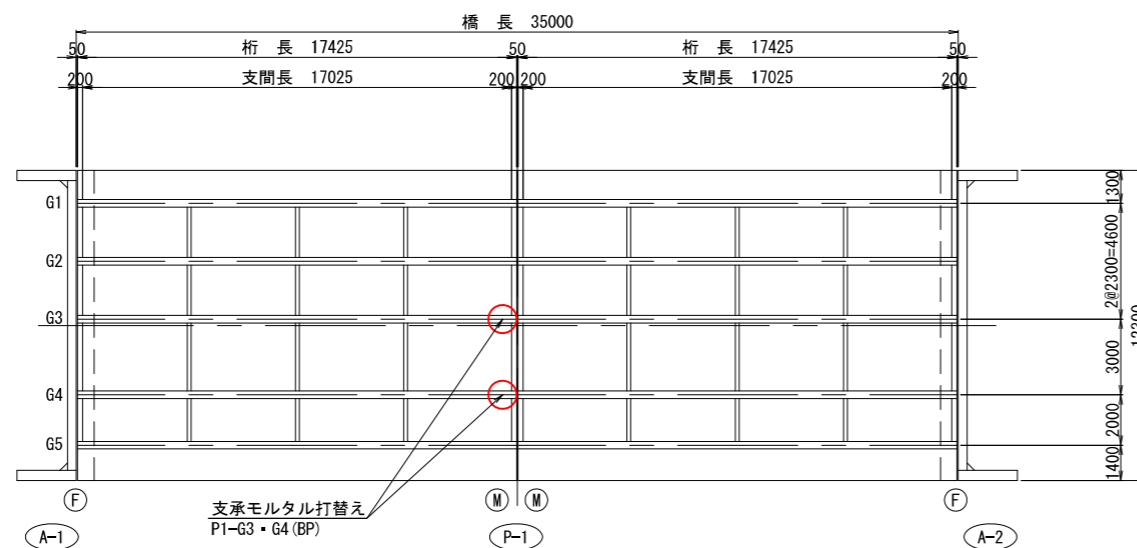
鉄筋加工図 S=1:15

① 2-D13×1430 (SD345)

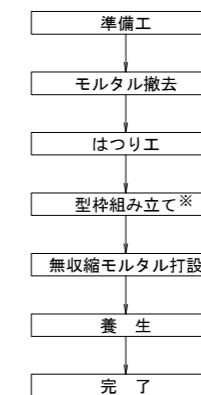
② 4-D13×50 (SD345)



位置図 S=1:150



### 支承モルタル打替え工施工手順



※型枠組立前に、腐食部分は除去すること。

### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・支承サイズは、主桁サイズより製品カタログをもとに想定。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。
- ・支承の固定、可動は現地確認のこと。
- ・ナットの緩みは、モルタル補修時に適宜締め直しすること。
- ・無収縮モルタルは、製造メーカーの仕様・施工方法に従い、必要に応じて交通規制や保温養生を行うこと。
- ・打込み式アンカーの位置は、施工可能な位置に設置することとし、指定するものではない。
- ・橋座コンクリート打換え範囲に隣接する支承モルタルについては、施工時の支承部安全性の観点から、補修深さに合わせて、支承部より150mmまでのモルタル打替え範囲とする。

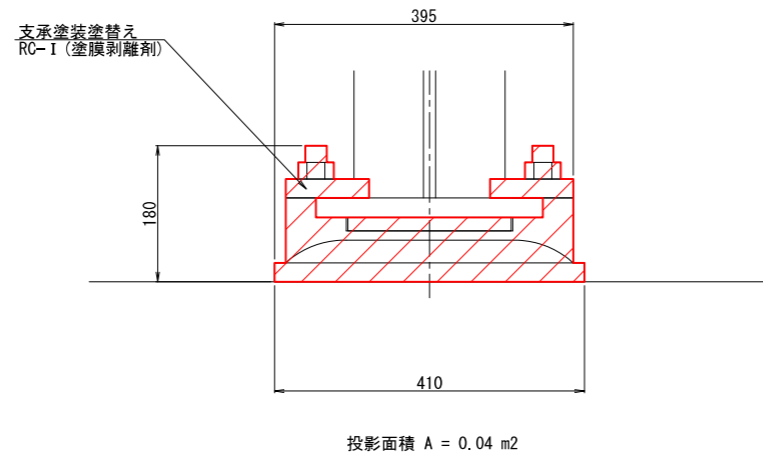
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	支承補修図(4)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 13 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 支承補修図(5)

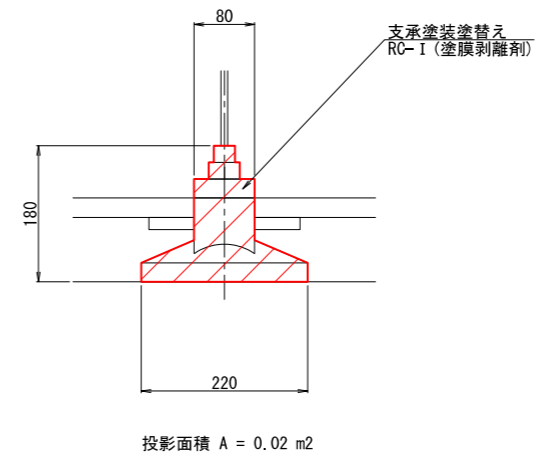
S=1:5

## 【第3富沢橋】

正面図



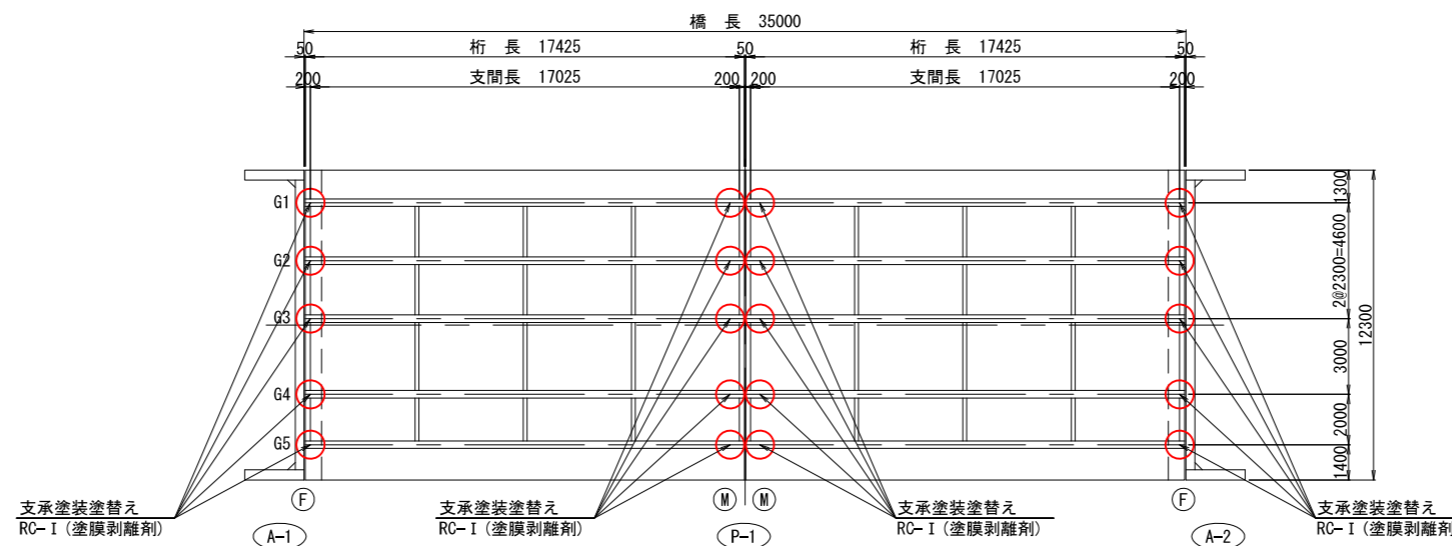
側面図



### Rc-I 塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )
素地調整	塗膜剥離剤(水系、0.50kg/m <sup>2</sup> /回) 1種ケレン(オープンプラスト)	
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140

位置図 S=1:150



### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・支承サイズは、主桁サイズより製品カタログをもとに想定。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。
- ・素地調整、塗装塗替範囲は現地状況で適宜変更対応すること。

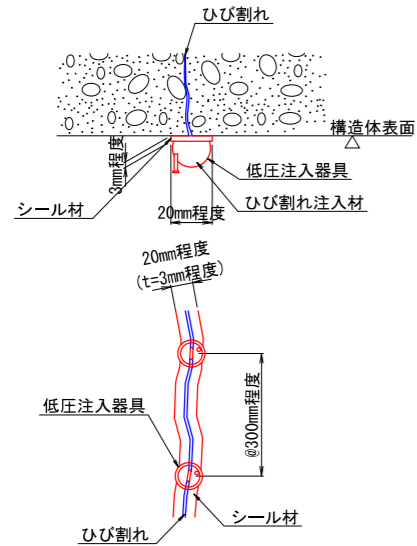
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)		
図面名	支承補修図(5)		
作成年月日	令和5年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	14 /
会社名	HRS株式会社		
事務所名	余市町		

# 下部工補修図(1) S=1:50

## 【第3富沢橋】

### ひび割れ注入工法概要

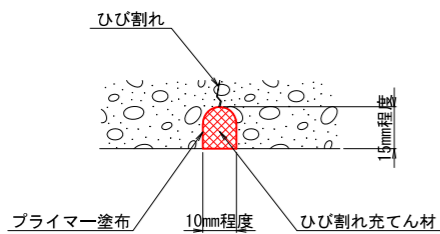
#### ひび割れ注入参考図



#### 施工手順

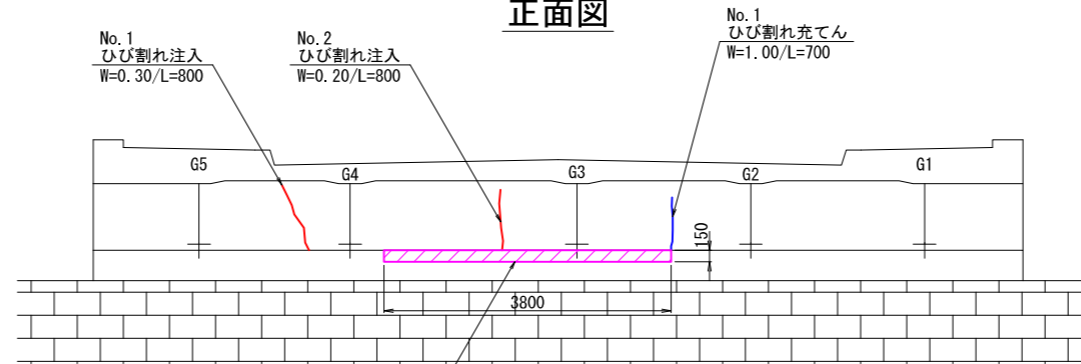
- 準備工
- 事前調査 — ひび割れ幅、延長の計測  
施工数量を確定
- 表面処理 — ワイヤブラシ、圧搾空気等により  
ひび割れ部及び周辺の清掃を行う。
- 注入治具貼付 — 器具内の注入材が空にならないように  
補充する
- シール工 — 専用シールでひびわれ部をシールした後、  
硬化養生する。
- 注入工 — 注入口より所定の配合比で混合攪拌させ  
た注入材を低圧にて注入する。
- 養生 — 注入材の養生を行う。
- 注入治具・シール撤去 — 硬化確認用サンプル、ゴムチューブ等  
により硬化を確認する。
- 仕上げ — 取付けパイプを取り除いた後、シール部  
をディスクサンダーで平坦に仕上げる。
- 清掃・後片付け

### ひび割れ充てん工法概要



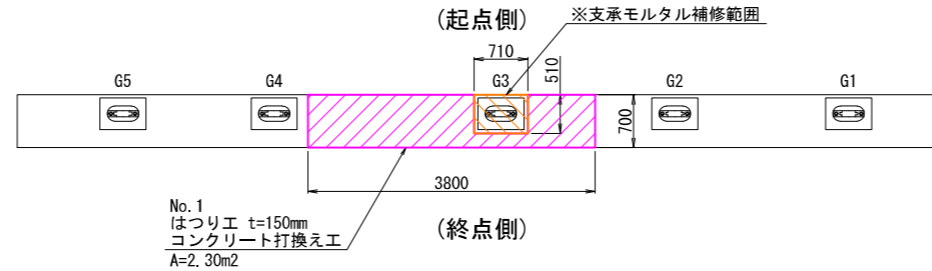
### A1橋台

#### 正面図



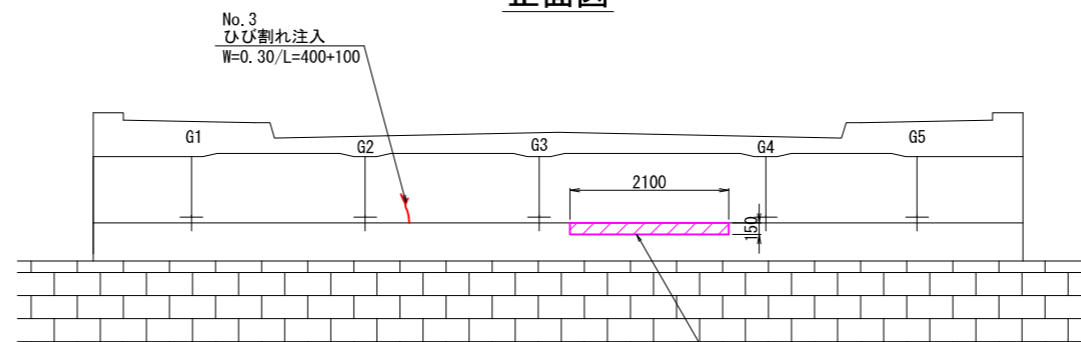
#### 平面図

(橋座面)



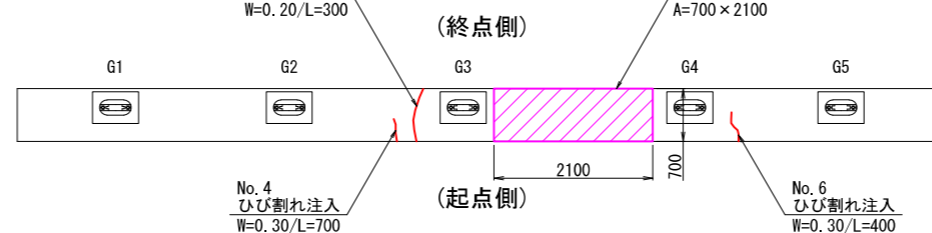
### A2橋台

#### 正面図



#### 平面図

(橋座面)



### コンクリート打換え数量表

・A1, A2橋台

No	L1 (mm)	L2 (mm)	t (mm)	V (m3)
1	A=2.30m2		150	0.3450
2	700	2100	150	0.2205
合計				0.5655

### ひび割れ注入数量表

・A1, A2橋台

No	長さL (mm)	幅 b (mm)	深さ h (mm)	体積V (m3)	低圧注入器具 (個)
1	800	0.30	60	0.000072	4
2	800	0.20	40	0.000032	4
3	500	0.30	60	0.000045	3
4	700	0.30	60	0.000063	4
5	300	0.20	40	0.000012	2
6	400	0.30	60	0.000036	3
合計	3500	-	-	0.000260	20

※ひび割れ深さは、鋼材の腐食に対するひび割れ幅の限界値として「コンクリート標準示方書（一般の環境）」に示される、0.005c（c:かぶり）による推定値とする。（幅b/0.005=深さhとする）  
※体積は、V=L(長さ)×b(幅)×h(深さ)×1/2より算出する。  
※低圧注入器具は、L(長さ)÷0.300(器具間隔@300mm程度)+1(個)より算出する。

### ひび割れ充てん数量表

・A1, A2橋台

No	長さL (mm)
1	700
合計	700

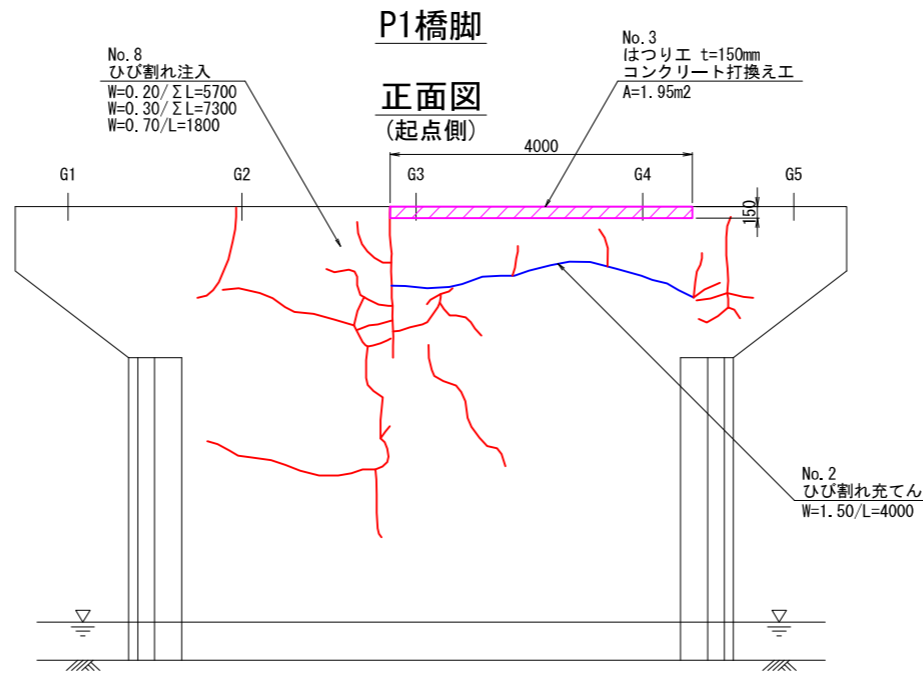
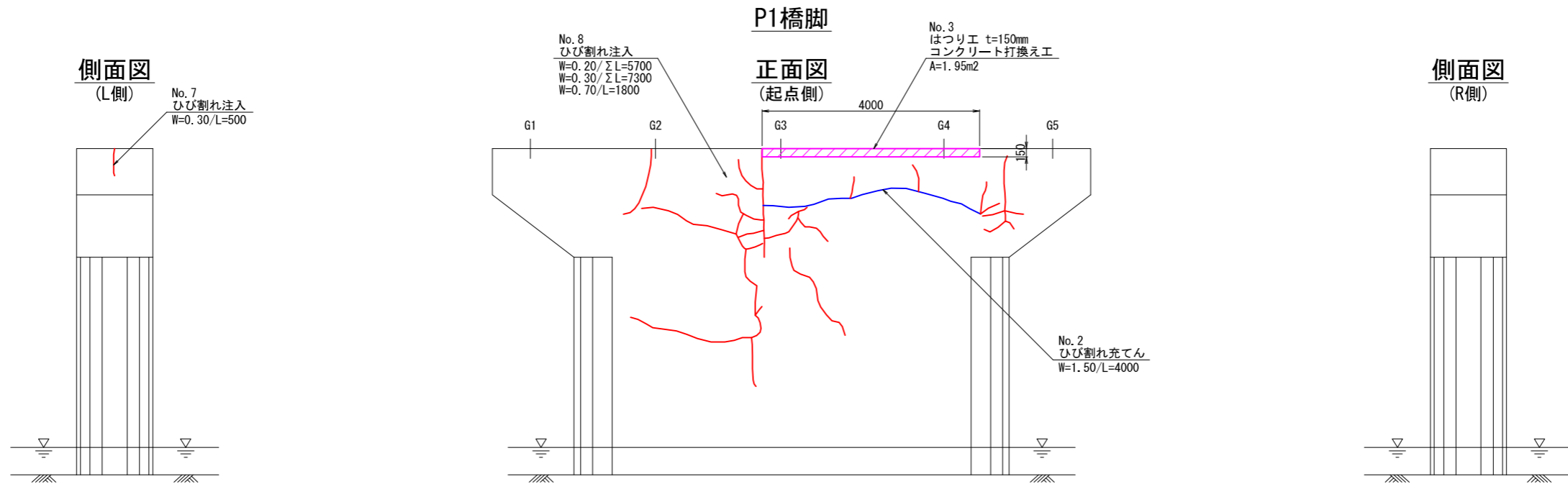
### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	下部工補修図(1)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 15 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 下部工補修図(2) S=1:50

## 【第3富沢橋】

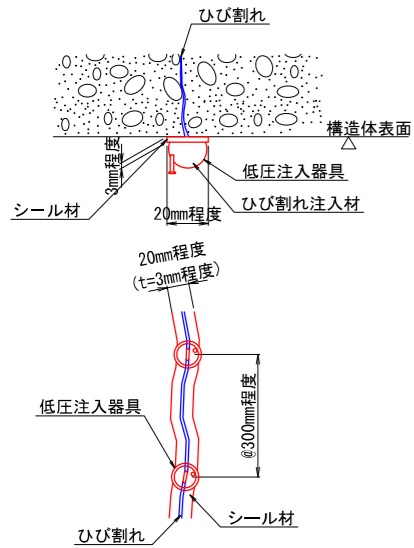


### コンクリート打換え数量表

・P1橋脚				
No	L1 (mm)	L2 (mm)	t (mm)	V (m3)
3	A=1.95m2		150	0.2925
合計				0.2925

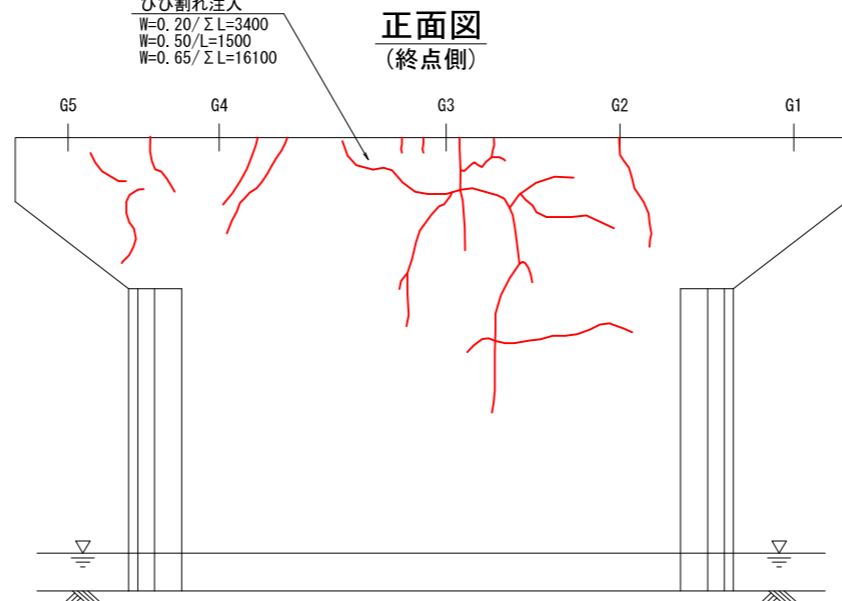
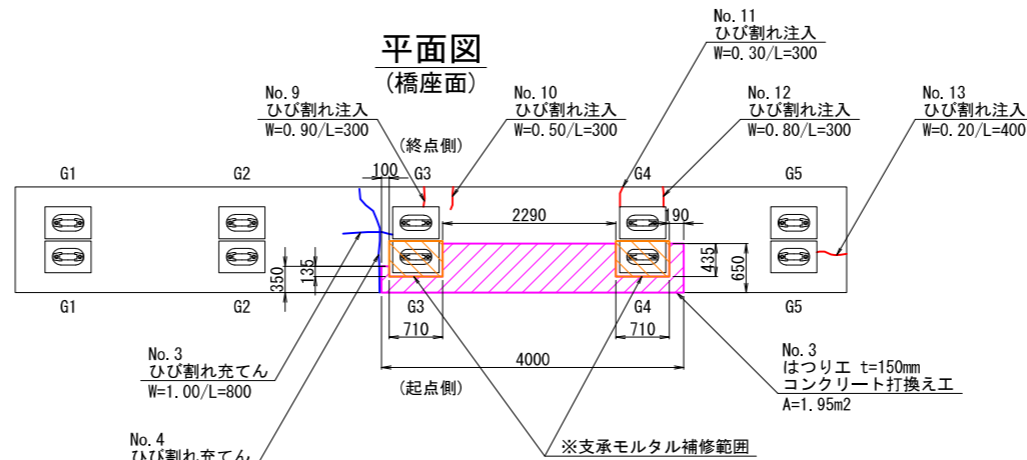
### ひび割れ注入工法概要

#### ひび割れ注入参考図



#### 施工手順

- 準備工
- 事前調査 — ひび割れ幅、延長の計測  
施工数量を確定
- 表面処理 — ファイヤーブラシ、圧搾空気等により  
ひび割れ部及び周辺の清掃を行う。
- 注入治具貼付 — 器具内の注入材が空にならないように  
補充する
- シール工 — 専用シールでひびわれ部をシールした後、  
硬化養生する。
- 注入工 — 注入口より所定の配合比で混合攪拌させ  
た注入材を低圧にて注入する。
- 養生 — 注入材の養生を行う。
- 注入治具・シール撤去 — 硬化確認用サンプル、ゴムチューブ等  
により硬化を確認する。
- 仕上げ — 取付けパイプを取り除いた後、シール部  
をディスクサンダーで平坦に仕上げる。
- 清掃・後片付け

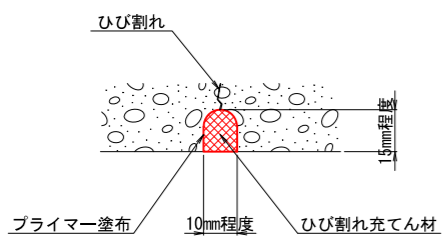


### ひび割れ注入数量表

・P1橋脚					
No	長さL (mm)	幅 b (mm)	深さ h (mm)	体積V (m3)	低圧注入器具 (個)
7	500	0.30	60	0.0000045	3
8	5700	0.20	40	0.0000228	20
	7300	0.30	60	0.0000657	26
	1800	0.70	140	0.0000882	7
9	300	0.90	180	0.0000243	2
10	300	0.50	100	0.0000075	2
11	300	0.30	60	0.0000027	2
12	300	0.80	160	0.0000192	2
13	400	0.20	40	0.0000016	3
14	3400	0.20	40	0.0000136	13
	1500	0.50	100	0.0000375	6
	16100	0.65	130	0.0006802	55
合計	37900	-	-	0.0009678	141

※ひび割れ深さは、鋼材の腐食に対するひび割れ幅の限界値として「コンクリート標準示方書（一般の環境）」に示される、 $0.005c$ （ $c$ :かぶり）による推定値とする。（幅 $b/0.005$ =深さ $h$ とする）  
※体積は、 $V = L(長さ) \times b(幅) \times h(深さ) \times 1/2$ より算出する。  
※低圧注入器具は、 $L(長さ) / 0.300$ （器具間隔 $\phi 300$ mm程度）+1（個）より算出する。

### ひび割れ充てん工法概要



### ひび割れ充てん数量表

・P1橋脚	
No	長さL (mm)
2	4000
3	800
4	1400
合計	6200

#### 特記事項

- 詳細寸法は現地確認後決定とする。
- 新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

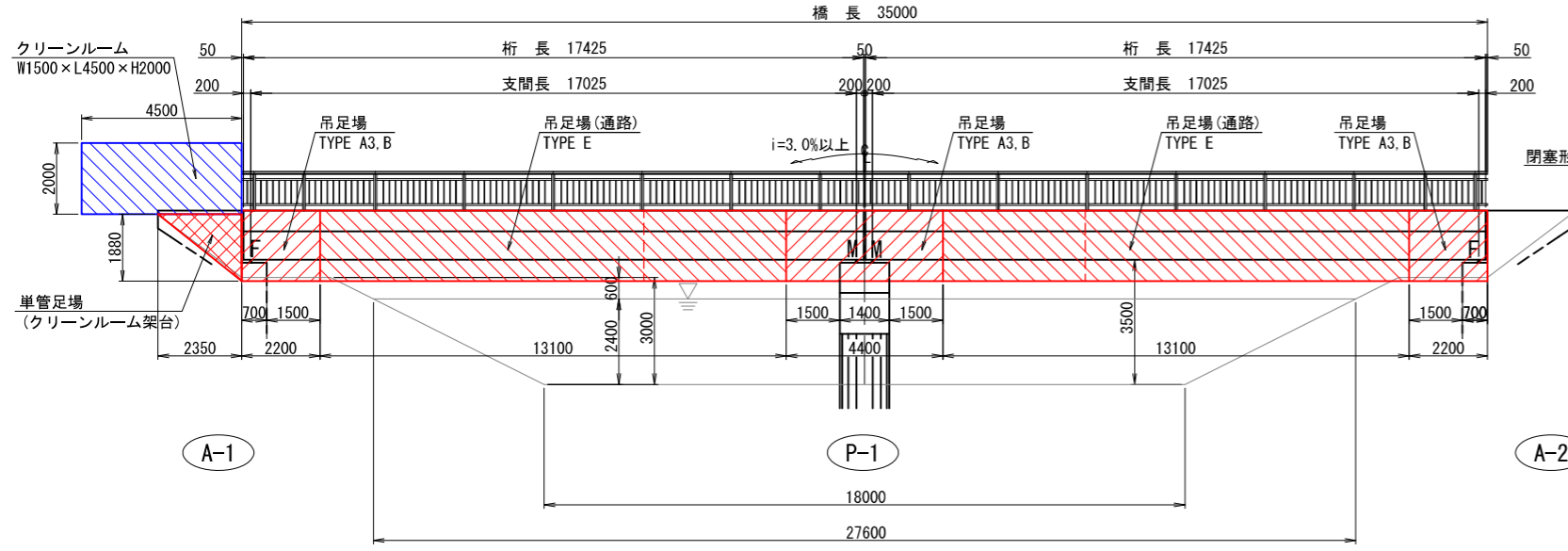
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	下部工補修図(2)
作成年月日	令和 5 年 月 日
縮尺	図示 図面番号 16 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余 市 町

# 仮設図(参考図)(1)

## 【第3富沢橋】 〈塗装工事, 橋面防水流末処理足場工〉

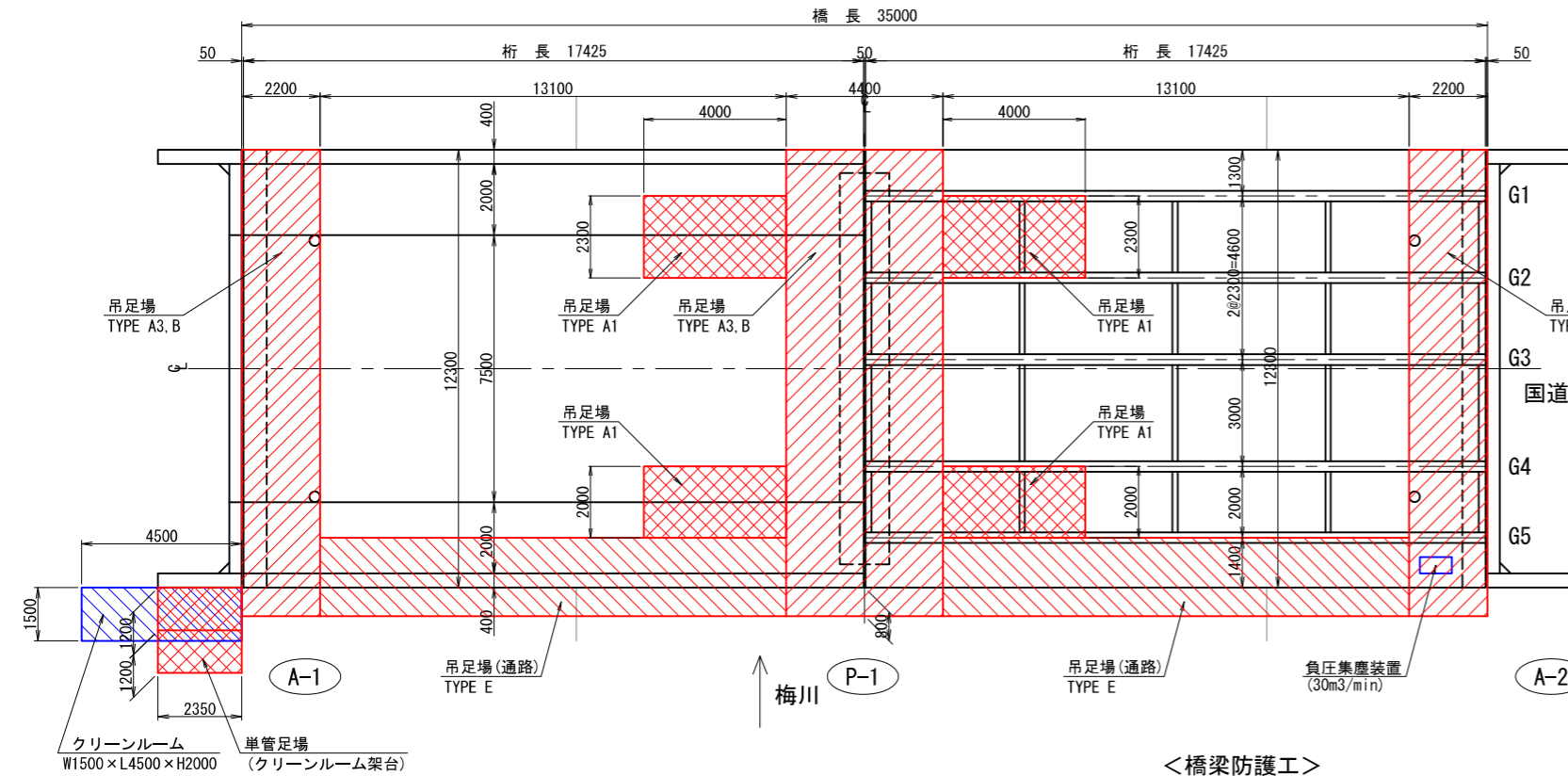
### 側面図

S=1:100



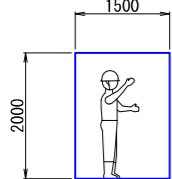
### 平面図

S=1:100

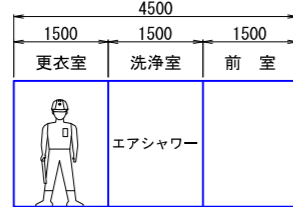


### クリーンルーム模式図(案) S=1:60

#### 〈断面図〉

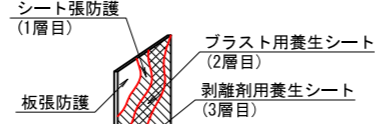


#### 〈正面図〉

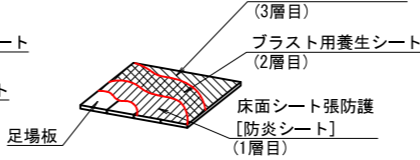


### 〈橋梁防護工〉

#### 側面部



#### 床面部

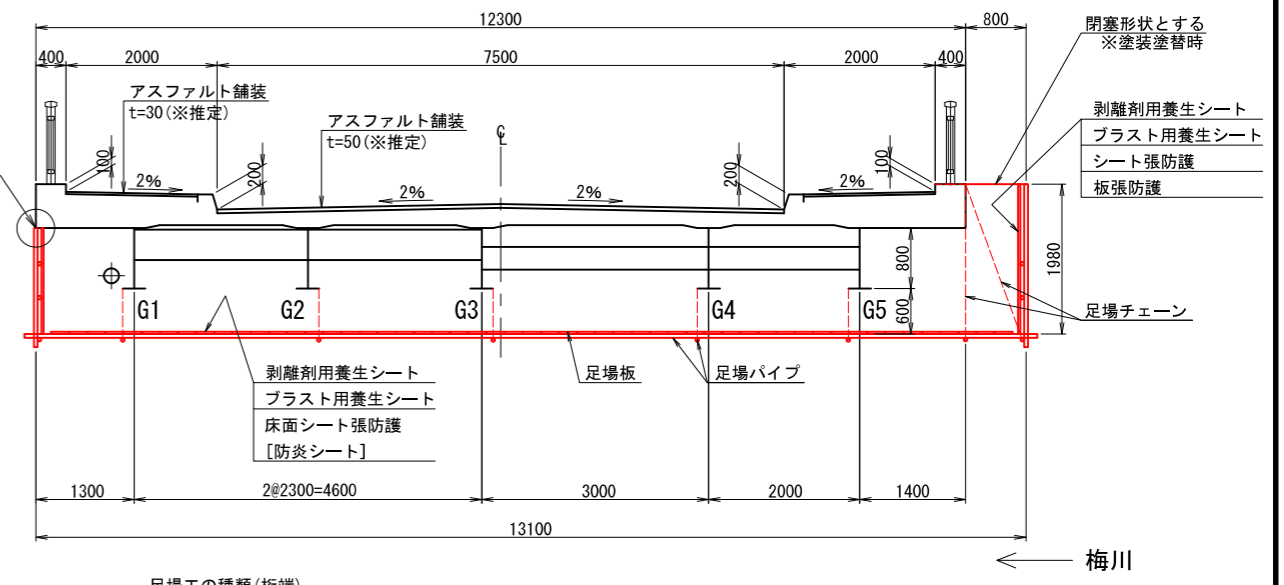


鉛等の有害物質を含む場合は以下の防護構成とする。  
 床面：足場板+床面シート張防護[防災シート]+プラスチック用養生シート+剥離剤用養生シート  
 朝顔：板張防護+シート張防護+プラスチック用養生シート+剥離剤用養生シート  
 プラスチック及び剥離剤用養生シートは、橋梁架設工事の積算P4-152, 158で床面、朝顔部の計上としているため、小口部は実面積での追加計上とする。

### 断面図

S=1:50

〈塗装工事足場工〉



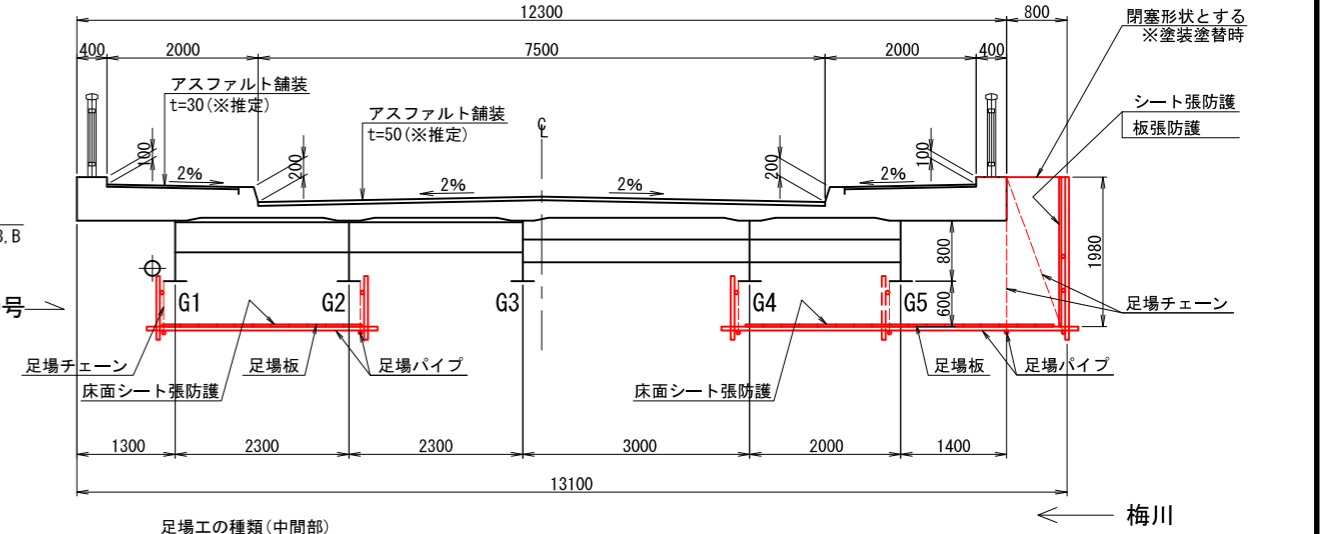
#### 足場工の種類(桁端)

- TYPE A3：吊足場(床面シート張防護[防災シート]+プラスチック用養生シート+剥離剤用養生シート)
- TYPE B：朝顔+板張防護+シート張防護(プラスチック用養生シート+剥離剤用養生シート)

### 断面図

S=1:50

〈橋面防水流末処理足場工(通路)〉



#### 足場工の種類(中間部)

- TYPE A1：吊足場(桁高h<1.5)+床面シート張防護

#### 足場工の種類(通路)

- TYPE E：片側朝顔防護足場(シート+板張防護)

	補修箇所	補修内容	足場工の種類
下部工	P-1	ひび割れ補修工	TYPE J
	A-1, P-1, A-2	コンクリート打換え工	塗装塗替工と兼用
支 承	全支承	塗装塗替工	TYPE A3, B (TYPE E)
	A1-G2~G5, P1-G2~G4 (BP), P1-G3~G4 (EP), A2-G4	モルタル打換え工	塗装塗替工と兼用
橋 面	全径間	橋面防水工(流末処理設置)	TYPE A1

### 特記事項

- 当該図面は簡易計測による復元図であるため、施工前に現地実測確認を行うこと。
- 図に示す足場及び仮設設備は参考であり、工事の際には適宜詳細を検討すること。

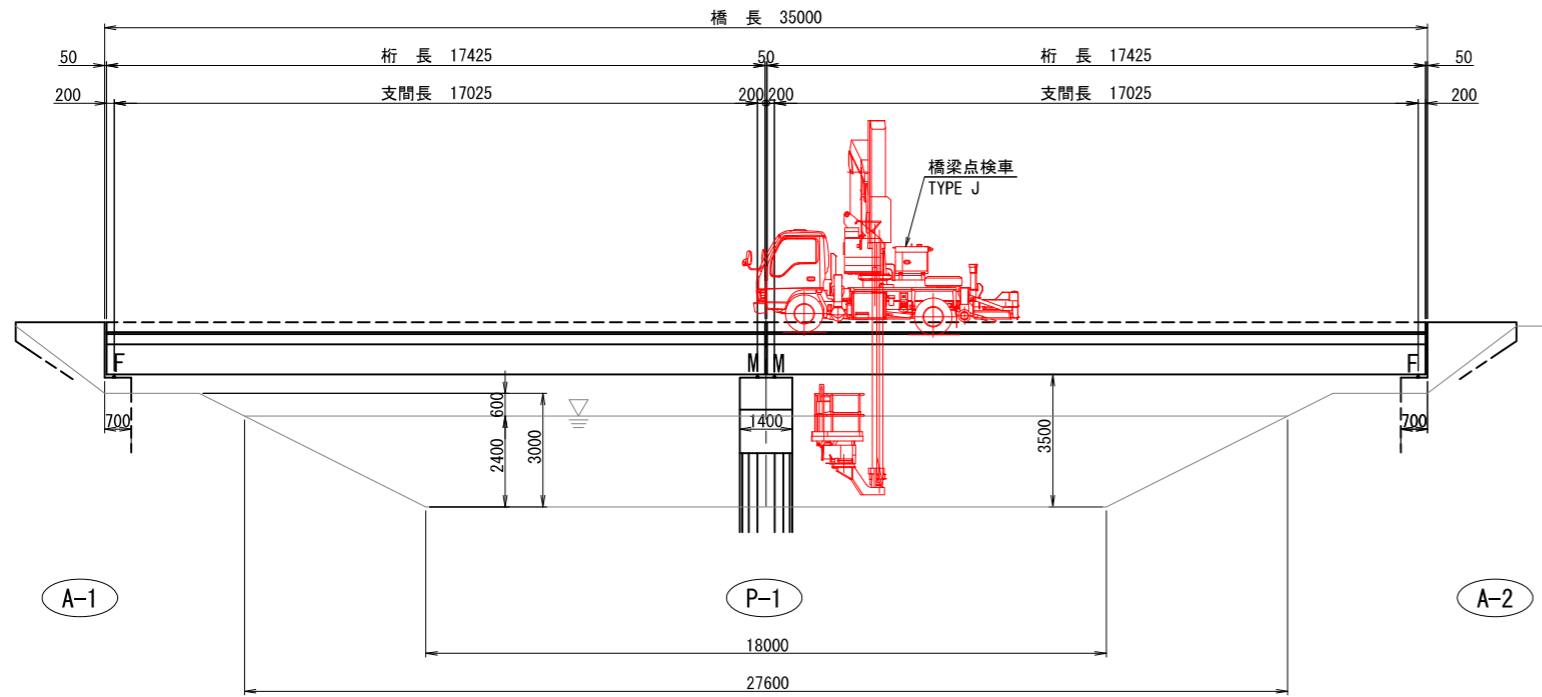
工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	仮設図(参考図)(1)
作成年月日	令和5年月日
縮尺	図示 図面番号 17 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 仮設図(参考図)(2)

## 【第3富沢橋】 〈下部工補修時〉

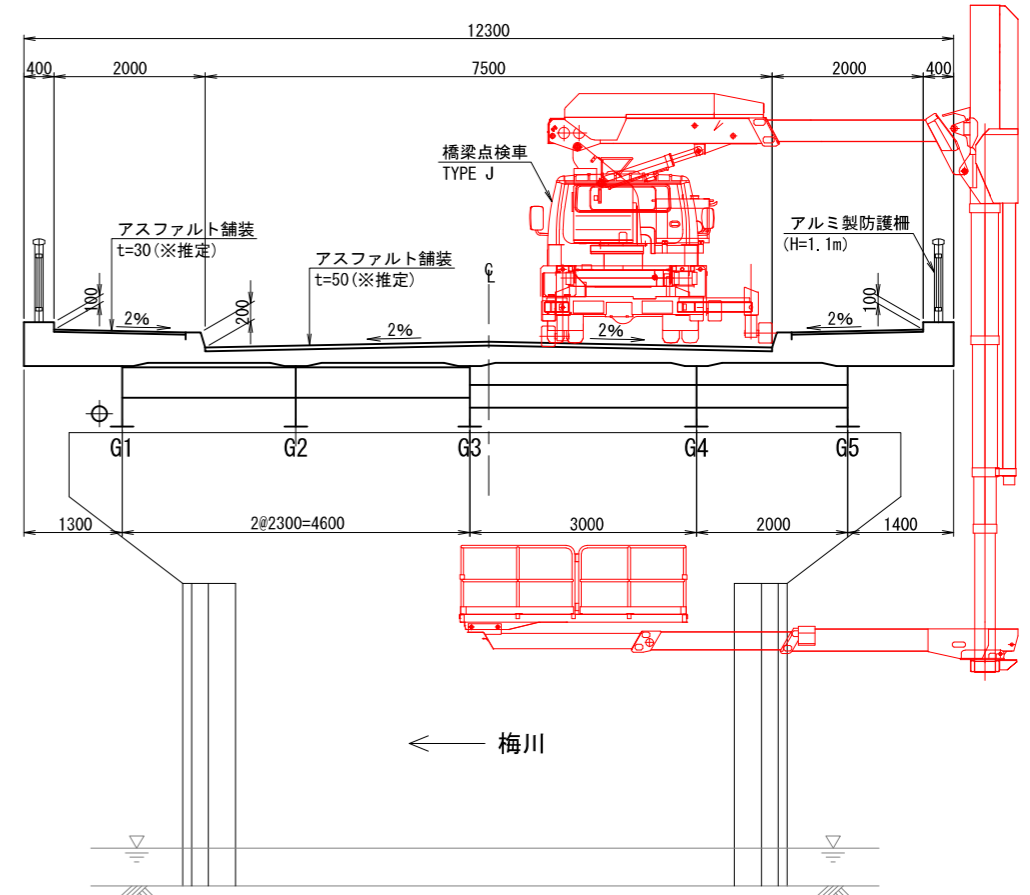
### 側面図

S=1:100



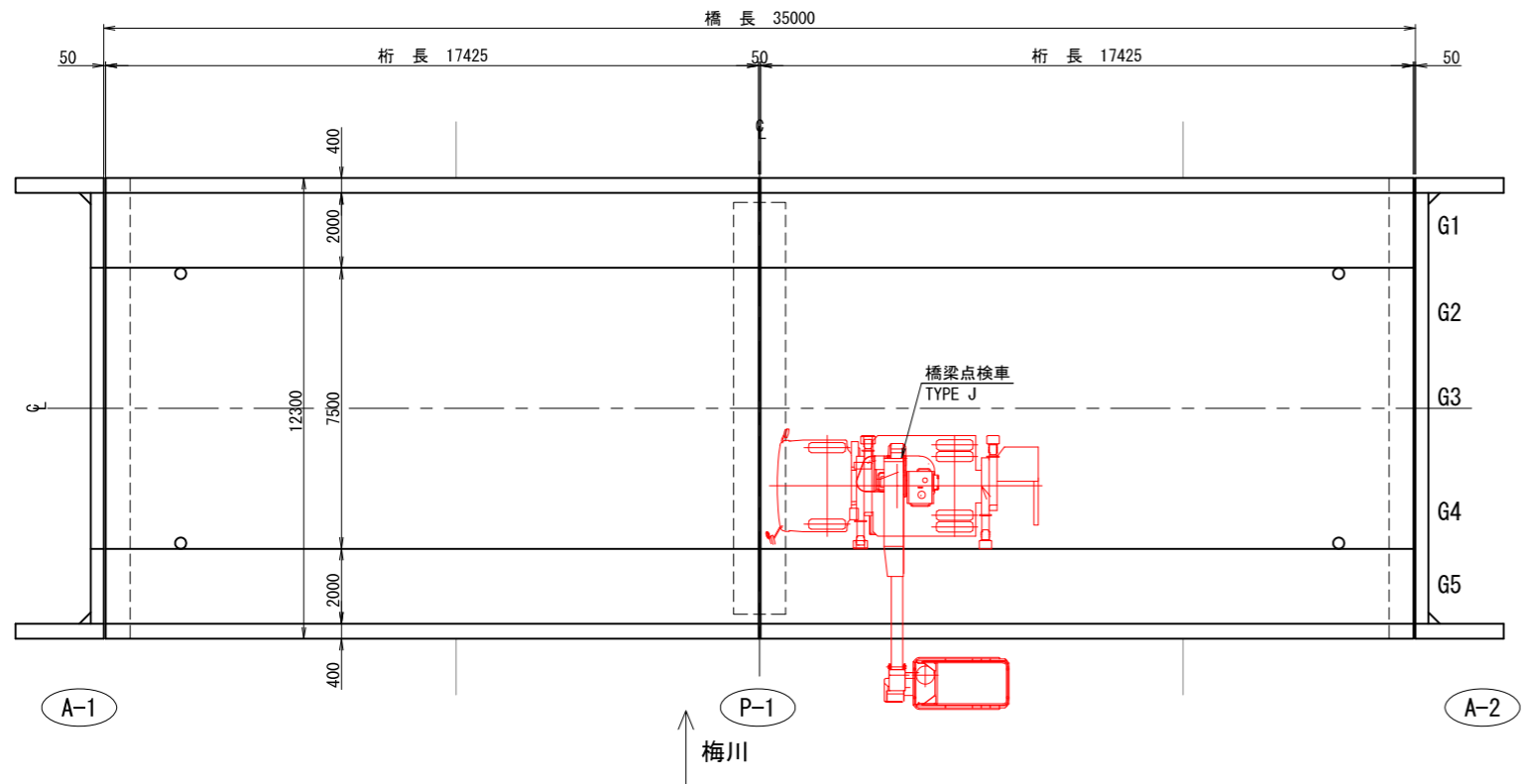
### 断面図

S=1:50



### 平面図

S=1:100



補修箇所		補修内容	足場工の種類
下部工	P-1	ひび割れ補修工	TYPE J
	A-1, P-1, A-2	コンクリート打換え工	塗装塗替工と兼用
支 承	全支承	塗装塗替工	TYPE A3, B (TYPE E)
	A1-G2~G5、P1-G2~G4 (BP)、 P1-G3~G4 (EP)、A2-G4	モルタル打換え工	塗装塗替工と兼用
橋 面	全径間	橋面防水工 (流末処理設置)	TYPE A1

### 特記事項

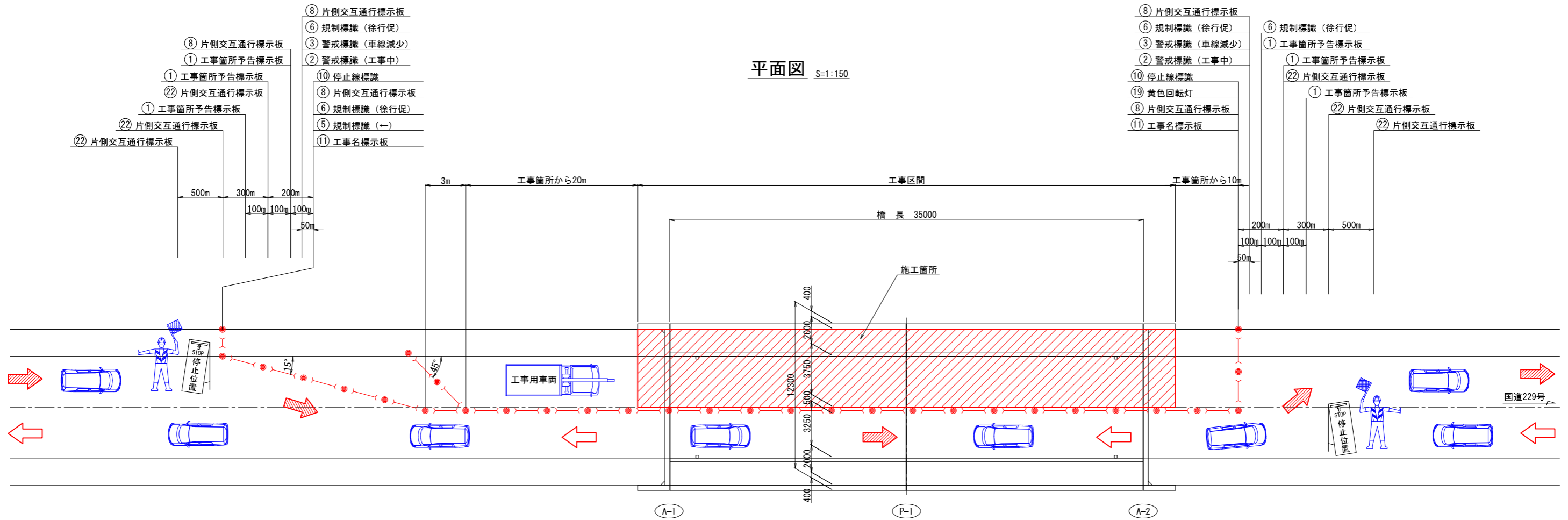
- ・当該図面は簡易計測による復元図であるため、施工前に現地実測確認を行うこと。
- ・図に示す足場及び仮設工設備は参考であり、工事の際には適宜詳細を検討すること。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)		
図面名	仮設図(参考図)(2)		
作成年月日	令和5年 月 日		
縮 尺	図示	図面番号	18 /
会 社 名	HRS株式会社		
事務所名	余 市 町		

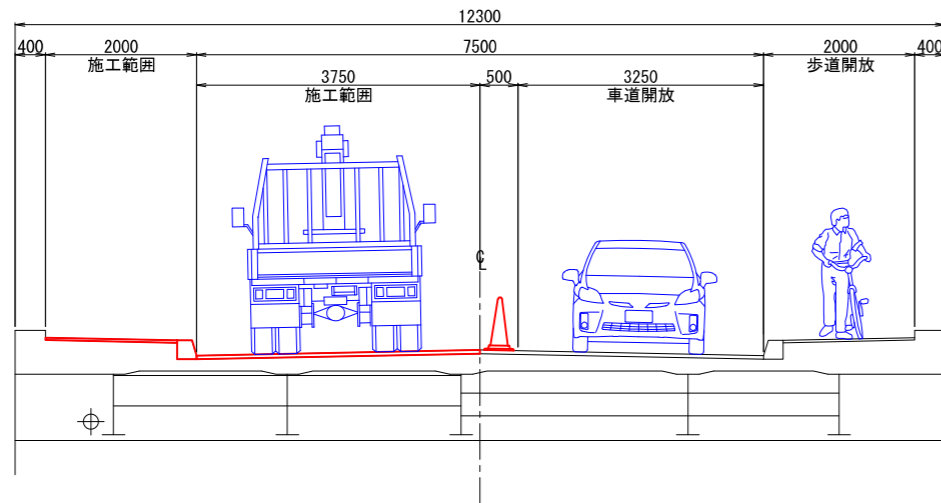
# 交通規制図(参考図)

## 【 第3富沢橋 】

平面図 S=1:150



断面図 S=1:50



①	②	③	⑤	⑥	⑧	⑩	⑪	⑬	⑮
工事箇所予告標示板	警戒標識	警戒標識	規制標識	規制標識	片側交互通行標示板	停止線標識	工事名標示板	黄色回転灯	片側交互通行標示板

### 特記事項

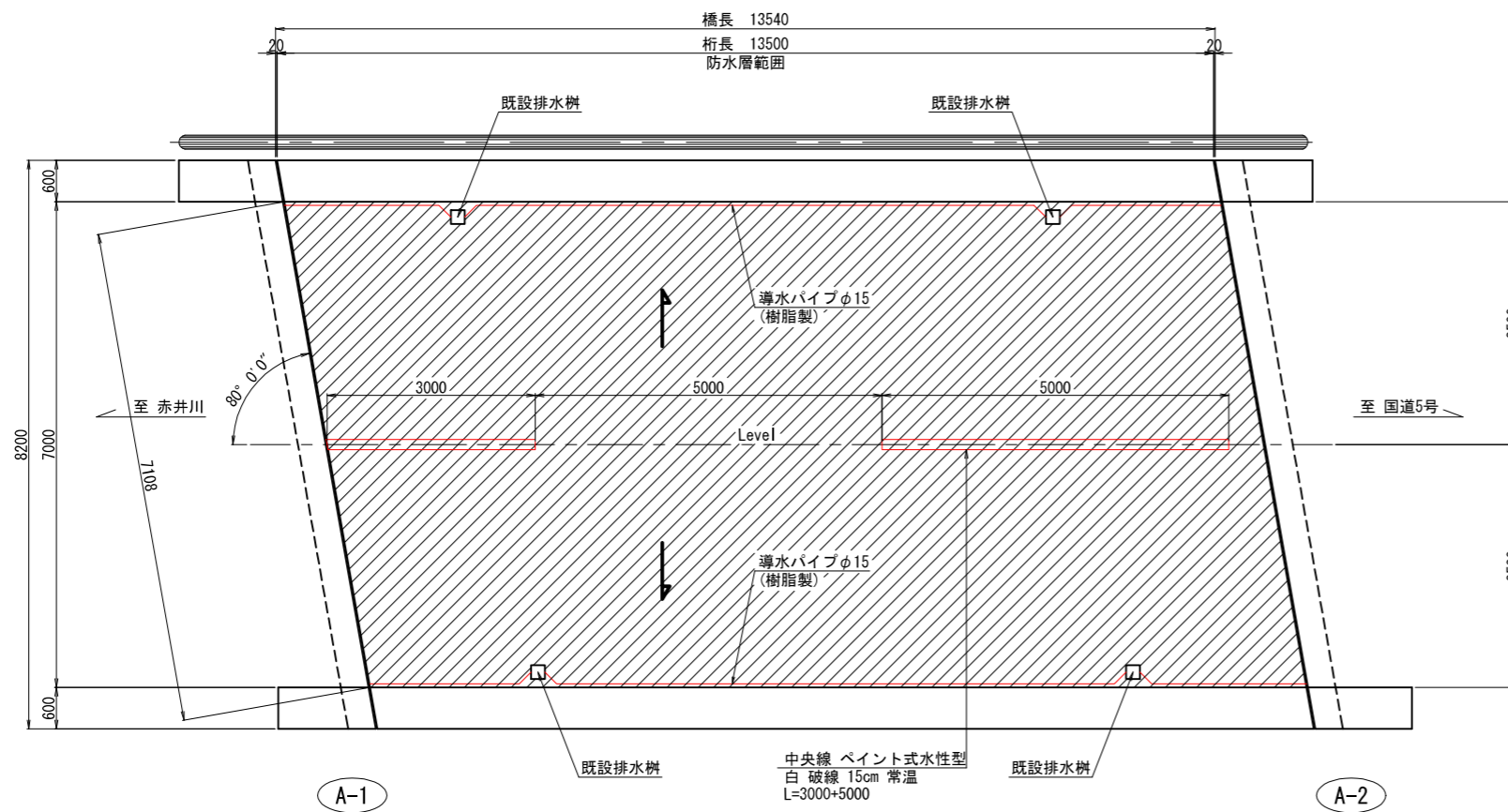
- ・工事着工前に現地確認を実施し、本図と異なる場合は適宜変更の事。
- ・施工手順、保安施設等は監督官と協議の上、最終決定する事。
- ・規制範囲は、「北海道開発局道路設計要領第6集標準設計図集 保安」を参考とした。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(第3富沢橋)
図面名	交通規制図(参考図)
作成年月日	令和5年 月 日
縮尺	図示 図面番号 19 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

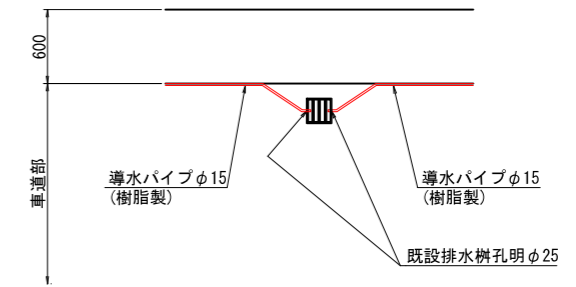


# 橋面防水工 【万歳橋】

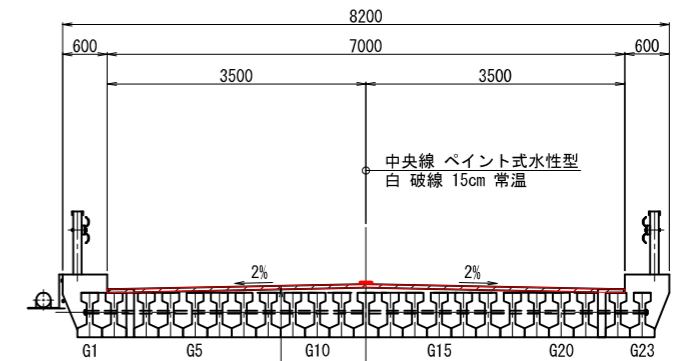
平面図 S=1:100



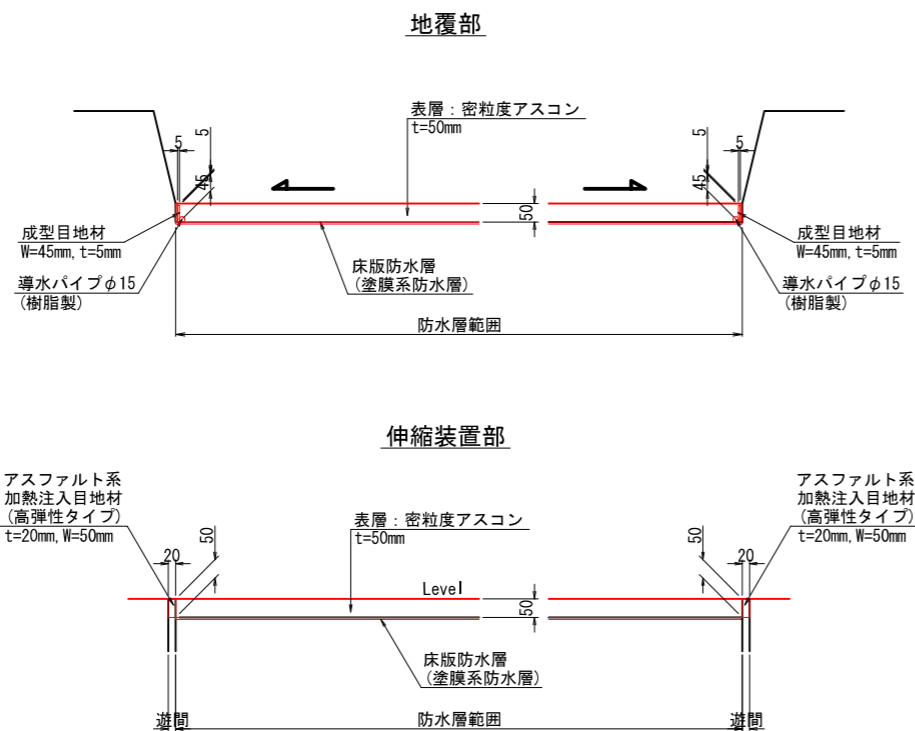
排水樹部詳細図 S=1:60



断面図 S=1:100



床版防水層詳細図 S=1:20



[既設]  
アスファルト舗装 t=50mm

路面切削 t=50mm

[復旧]  
表層：密粒度アスコン t=50mm

## 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。
- ・縦横断勾配による長さの差は、現寸にて決定のこと。
- ・排水樹寸法及び位置は事前に確認すること。
- ・橋面防水工の重ね塗りは、W=100mm程度設けること。
- ・区画線の位置は橋梁前後との整合をとること。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事 (万歳橋)
図面名	橋面防水工
作成年月日	令和 4 年 月 日
縮尺	図示 図面番号 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町

# 上部工補修図 【万歳橋】

S=1:100

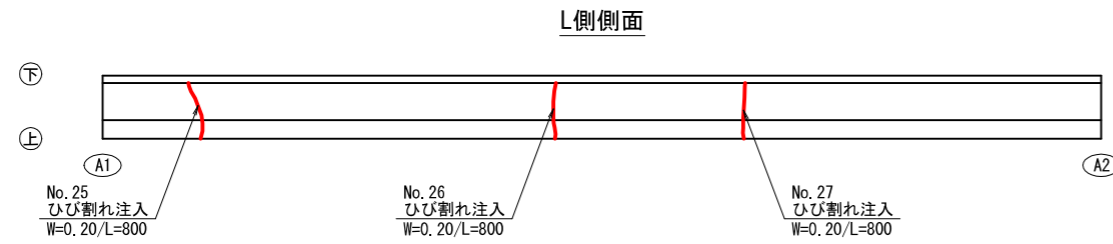
## ひび割れ注入数量表

No	長さL (mm)	幅 b (mm)	深さ h (mm)	備考	体積V (m3)	低圧注入器具 (個)
1	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
2	1600	0.20	40		0.000064	7
3	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
4	12200	0.35	70	×2	0.0002989	83
5	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
6	12200	0.30	60	×2	0.0002196	83
7	12200	0.30	60	×2	0.0002196	83
8	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
9	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
10	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
11	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
12	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
13	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
14	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
15	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
16	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
17	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
18	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
19	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
20	12200	0.20	40	×2	0.0000976	83
21	12200	0.30	60	×2	0.0002196	83
22	12200	0.30	60	×2	0.0002196	83
23	12200	0.30	60	×2	0.0002196	83
24	12200	0.30	60	×2	0.0002196	83
25	800	0.20	40		0.000032	4
26	800	0.20	40		0.000032	4
27	800	0.20	40		0.000032	4
28	550	0.20	40		0.000022	3
合計	565750	-	-		0.0031963	1931

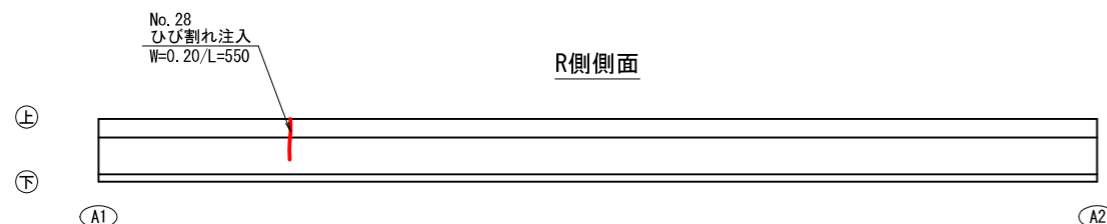
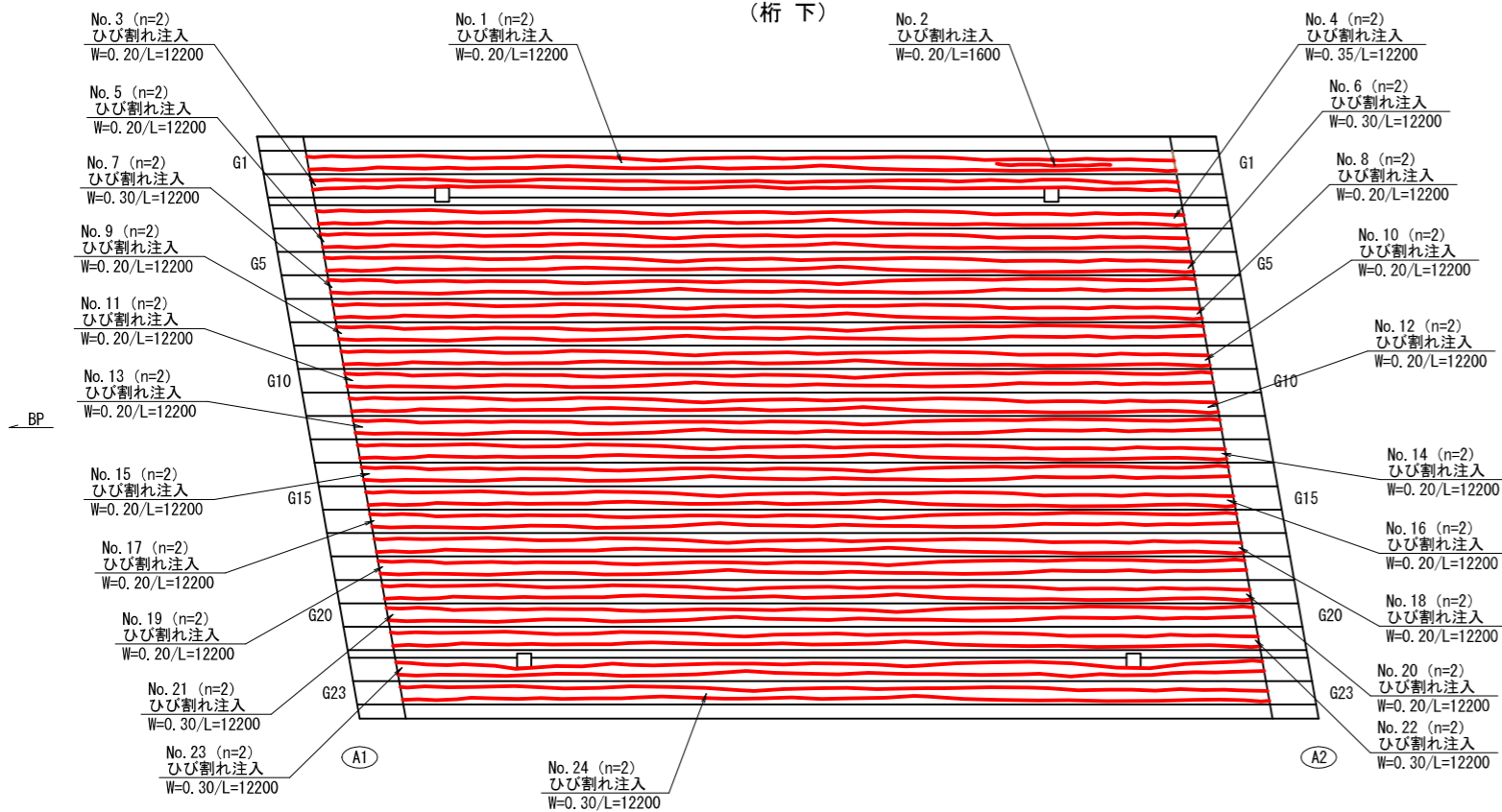
## 遊離石灰除去数量表

No	L1 (mm)	L2 (mm)	備考	遊離石灰除去面積 (m2)
1	12200	100	×22	26.840
合計				26.840

※桁下間詰め部の遊離石灰幅は仮定値とした(100mm)。



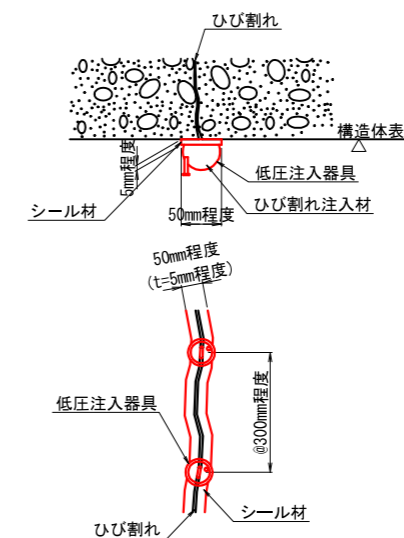
## 平面図 (桁下)



※ひび割れ深さは、鋼材の腐食に対するひび割れ幅の限界値として「コンクリート標準示方書（一般の環境）」に示される、 $0.005c$  ( $c$ :ひび割れ幅) による推定値とする。(幅 $b/0.005$ =深さ $h$ とする)  
 ※体積は、 $V = L(\text{長さ}) \times b(\text{幅}) \times h(\text{深さ}) \times 1/2$ より算出する。  
 ※低圧注入器具は、 $L(\text{長さ}) / 0.300$  (器具間隔@300mm程度) + 1 (個) より算出する。

## ひび割れ注入工法概要

### ひび割れ注入参考図



### 施工手順

- 準備工
- 事前調査 — ひび割れ幅、延長の計測  
施工数量を確定
- 表面処理 — ワイヤブラシ、圧搾空気等により  
ひび割れ部及び周辺の清掃を行う。
- 注入治具貼付 — 機具内の注入材が空にならないように  
補充する
- シール工 — 専用シールでひびわれ部をシールした後、  
硬化養生する。
- 注入工 — 注入口より所定の配合比で混合攪拌させ  
た注入材を低圧にて注入する。
- 養生 — 注入材の養生を行う。
- 注入治具・シール撤去 — 硬化確認用サンプル、ゴムチューブ等  
により硬化を確認する。
- 仕上げ — 取付けパイプを取り除いた後、シール部  
をディスクサンダーで平坦に仕上げる。
- 清掃・後片付け

### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

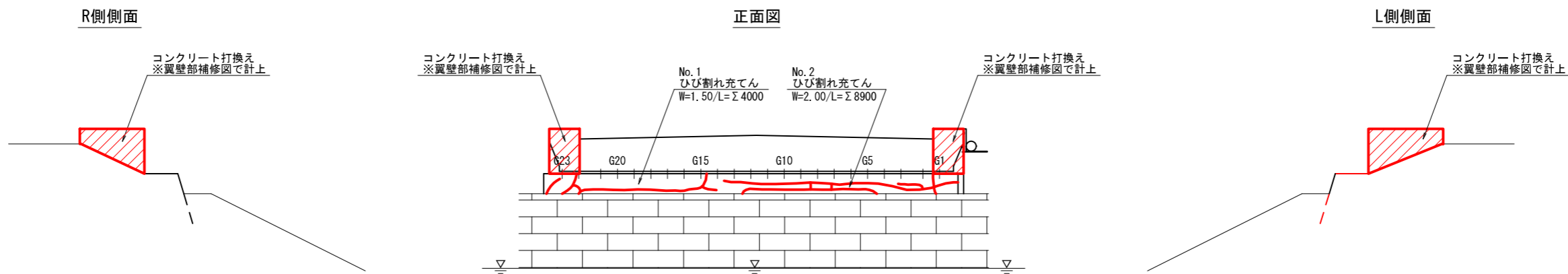
工事名	令和8年度 橋梁補修工事 (万歳橋)		
図面名	上部工補修図		
作成年月日	令和 4 年	月	日
縮尺	図示	図面番号	/
会社名	HRS株式会社		
事務所名	余市町		

# 下部工補修図

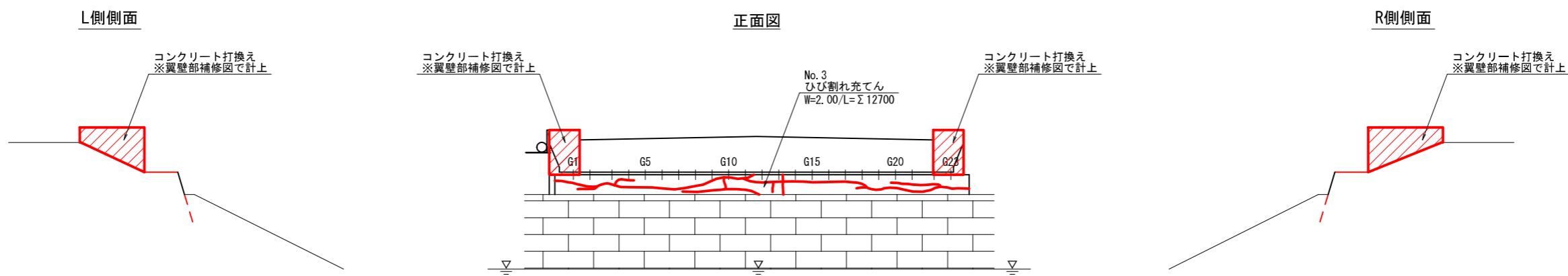
【 万歳橋 】

S=1:100

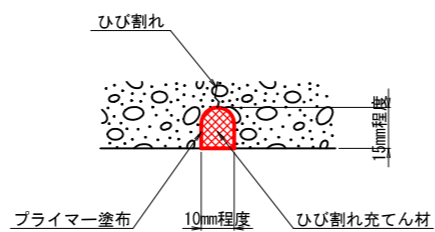
A1橋台



A2橋台



### ひび割れ充てん工法概要



### ひび割れ充てん数量表

No	長さL (mm)
1	4000
2	8900
3	12700
合計	25600

### 特記事項

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(万歳橋)		
図面名	下部工補修図		
作成年月日	令和4年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	/
会社名	HRS株式会社		
事務所名	余市町		

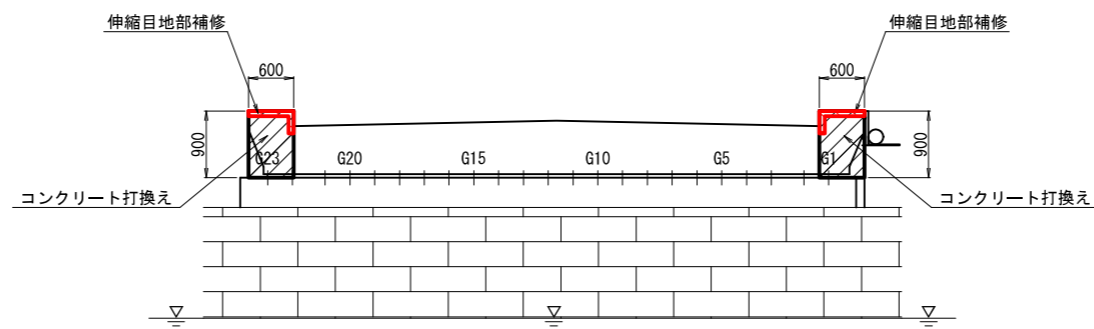
# 翼壁部補修図

S=1:100

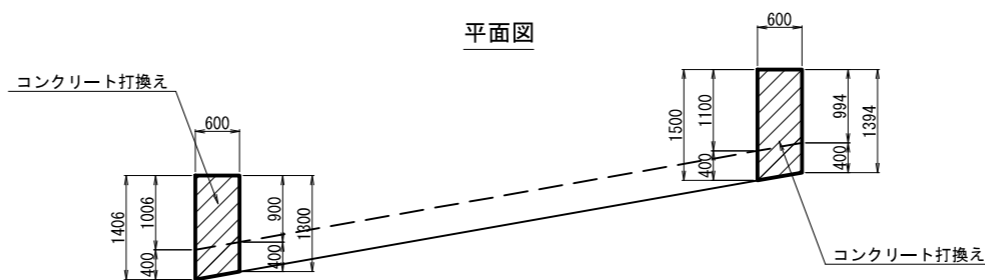
## 【万歳橋】

A1橋台

正面図

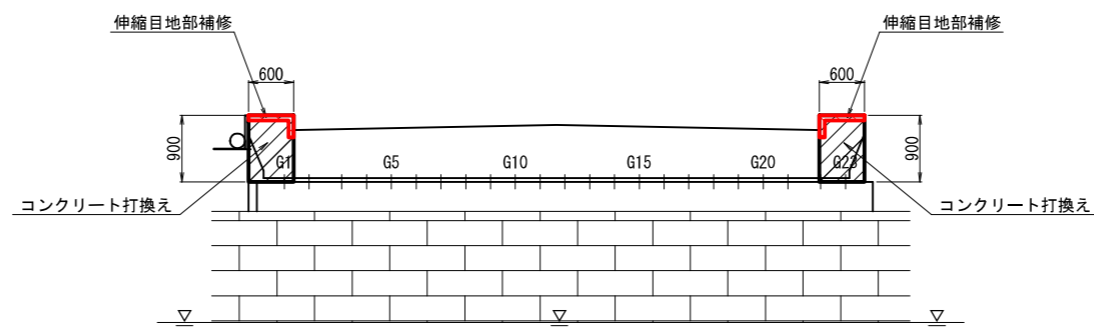


平面図

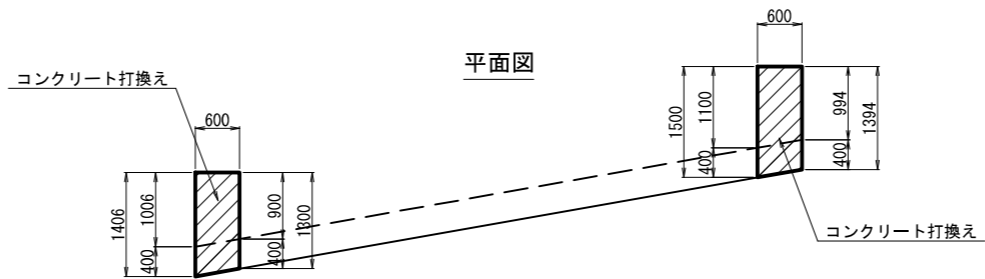


A2橋台

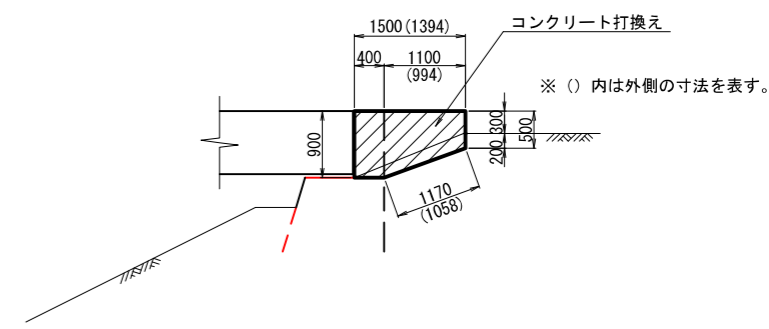
正面図



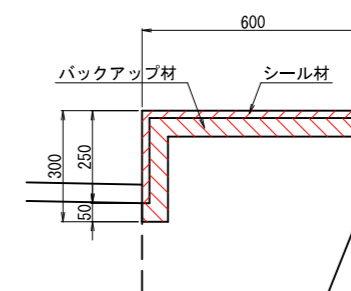
平面図



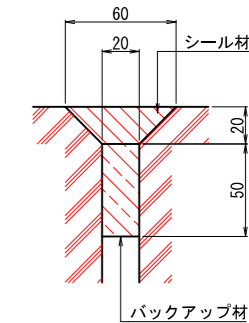
L側側面



正面図 S=1:20

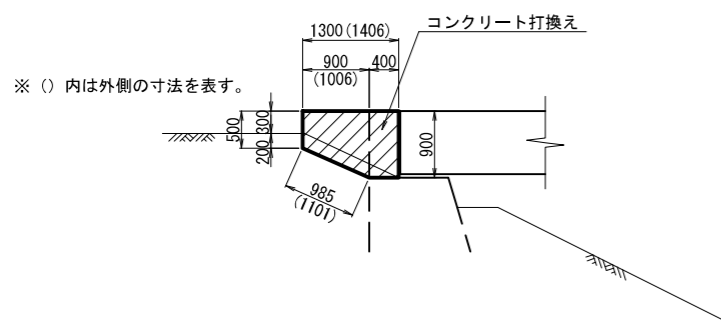


断面図 S=1:4

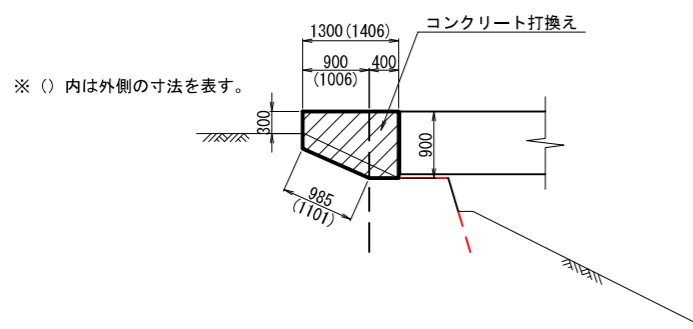


### 目地詳細図

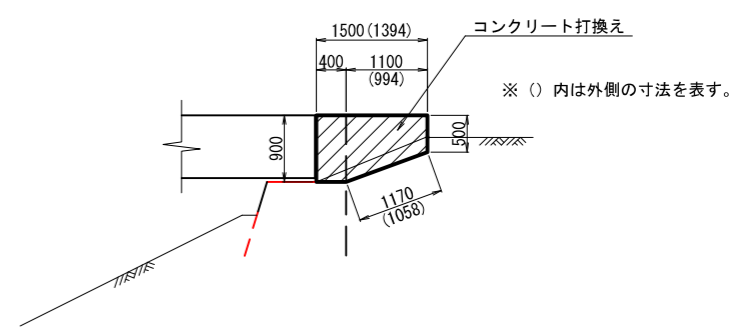
R側側面



L側側面



R側側面



### 特記事項

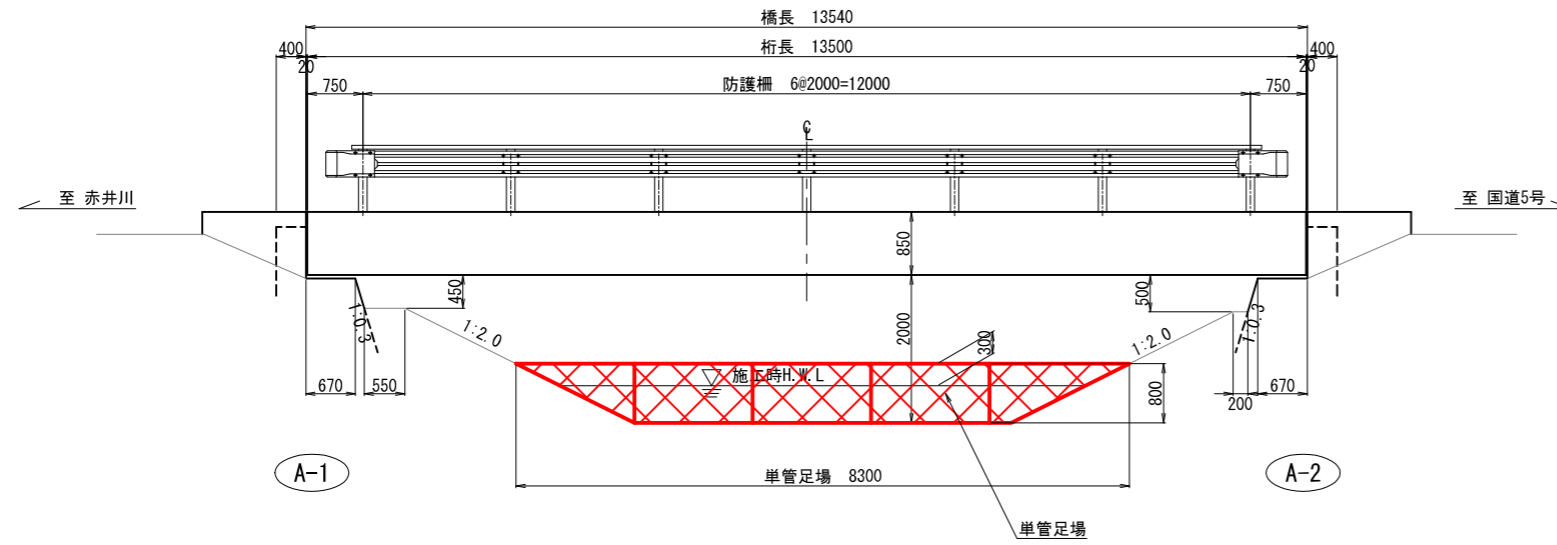
- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・土掘りラインは想定とする。
- ・床掘り時にコンクリートが土中に連続している場合は、監督員との相談を行うこと。
- ・コンクリート取壊し時は既設鉄筋が損傷しないよう留意すること。既設鉄筋の被覆部が損傷した場合は防錆処理を施すこと。
- ・復旧コンクリートはRC-2-1とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(万歳橋)		
図面名	翼壁部補修図		
作成年月日	令和4年	月	日
縮尺	図示	図面番号	/
会社名	HRS株式会社		
事務所名	余市町		

# 仮設図(参考図) 【万歳橋】

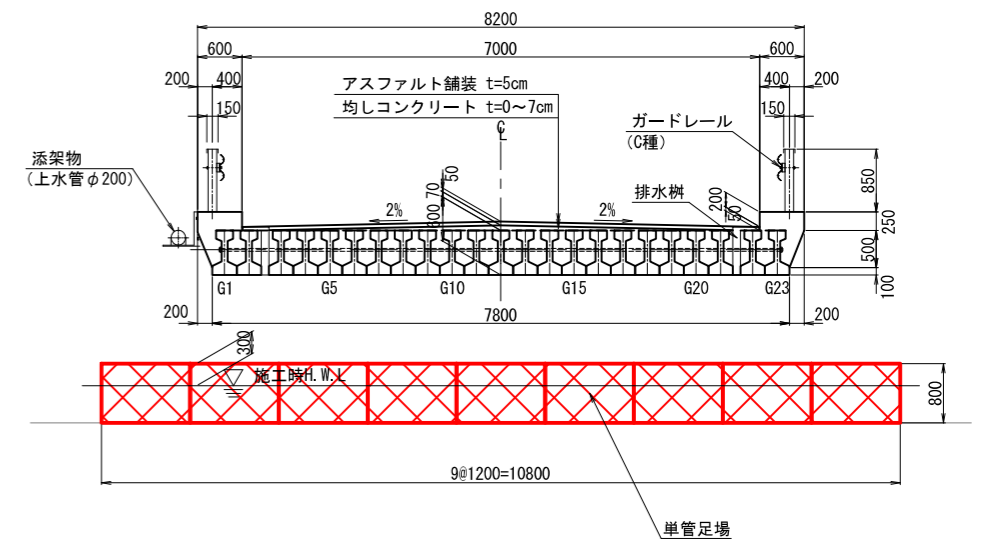
## 側面図

S=1:100



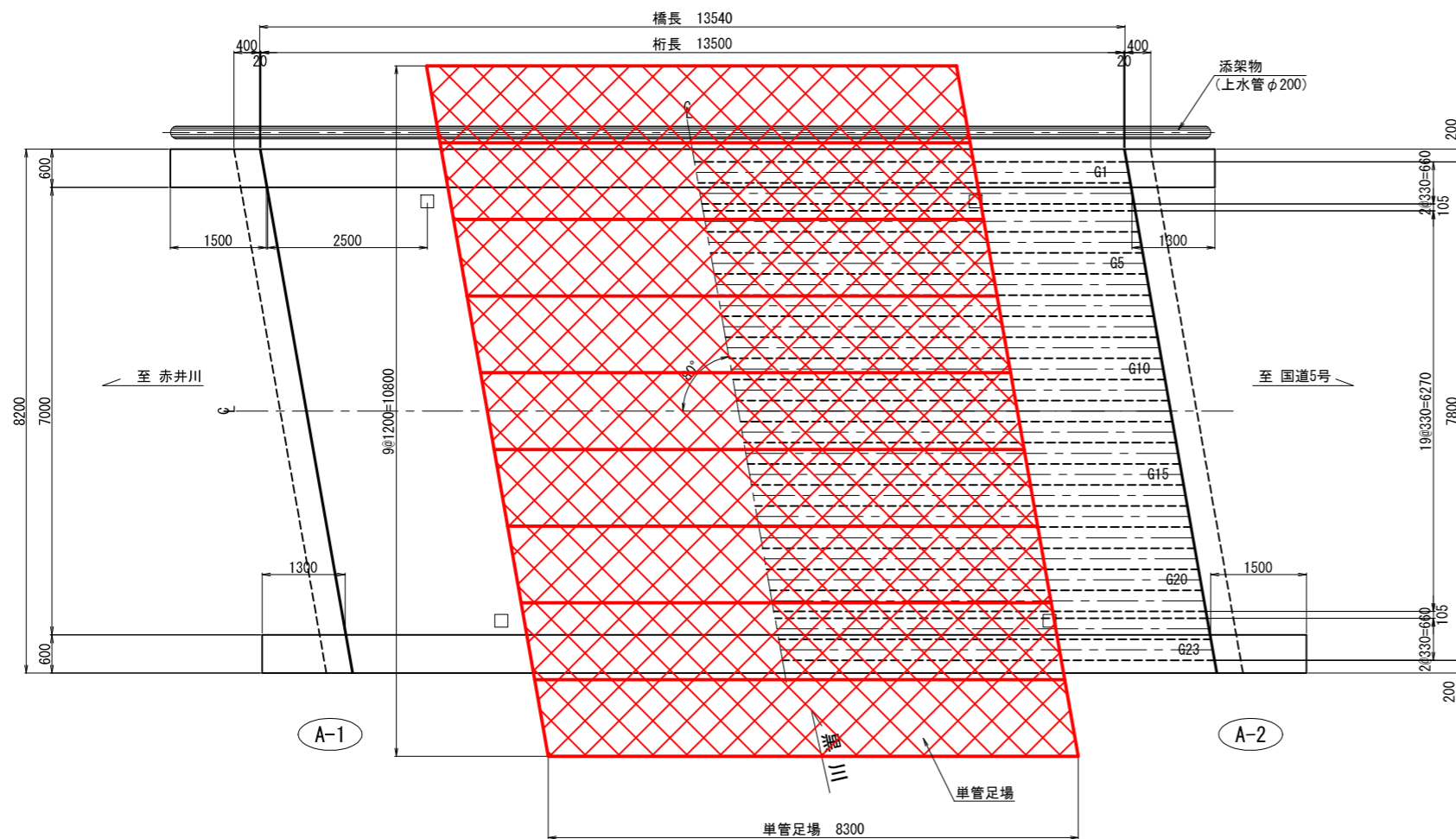
## 断面図

S=1:100



## 平面図

S=1:100

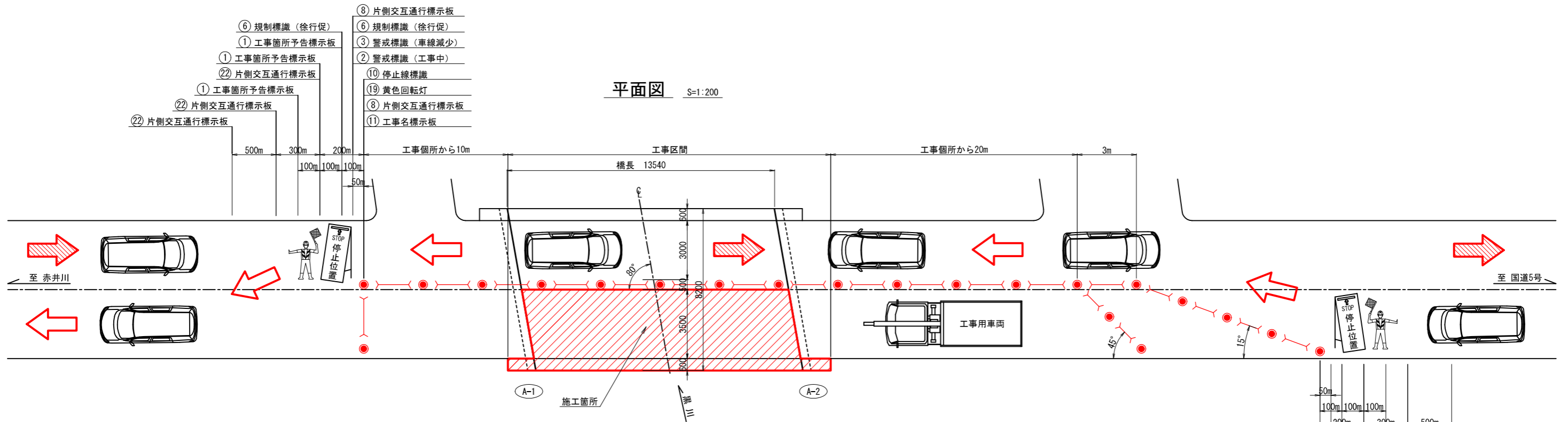


工事名	令和8年度 橋梁補修工事 (万歳橋)		
図面名	仮設図(参考図)		
作成年月日	令和4年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	/
会社名	HRS株式会社		
事務所名	余市町		

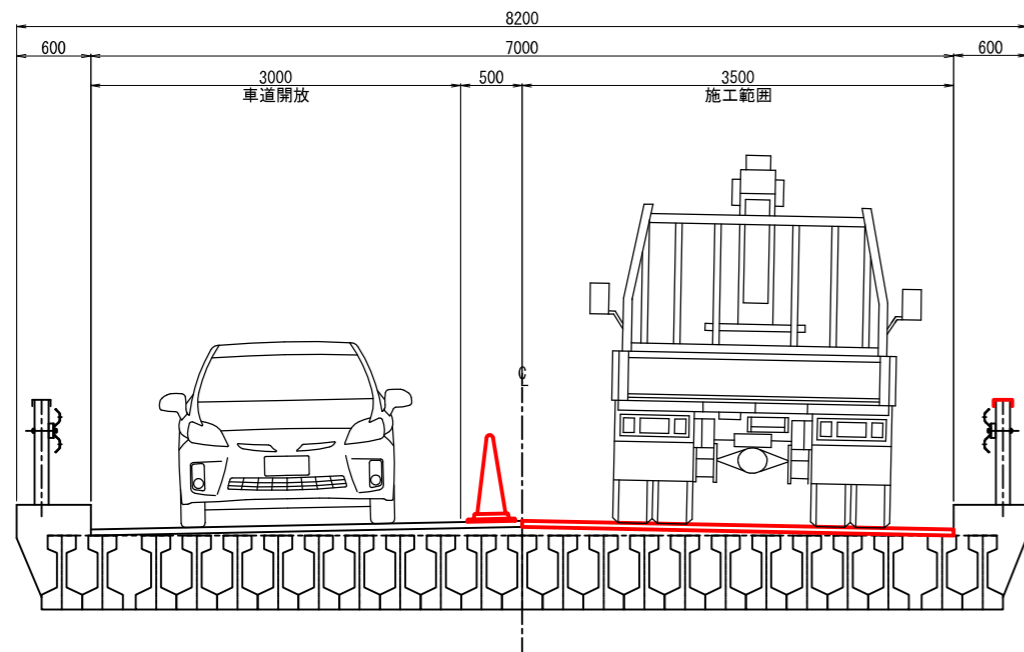
# 交通規制図(参考図)

## 【万歳橋】

平面図 S=1:200



断面図 S=1:60



- ⑩ 停止線標識
  - ⑧ 片側交互通行標識板
  - ⑥ 規制標識(徐行促)
  - ⑤ 規制標識(←)
  - ⑪ 工事名標識板
  - ⑧ 片側交互通行標識板
  - ⑥ 規制標識(徐行促)
  - ③ 警戒標識(車線減少)
  - ② 警戒標識(工事中)
- ②② 片側交互通行標識板
  - ① 工事箇所予告標識板
  - ②② 片側交互通行標識板
  - ① 工事箇所予告標識板
  - ⑧ 片側交互通行標識板
  - ① 工事箇所予告標識板

① 工事箇所 予告標識板	② 警戒標識	③ 警戒標識	⑤ 規制標識	⑥ 規制標識	⑧ 片側交互通行 標識板	⑩ 停止線標識	⑪ 工事名標識板	⑱ 黄色回転灯	②② 片側交互通行 標識板

### 特記事項

- ・工事着工前に現地確認を実施し、本図と異なる場合は適宜変更の事。
- ・施工手順、保安施設等は監督官と協議の上、最終決定する事。
- ・規制範囲は、「北海道開発局道路設計要領第6集標準設計図集 保安」を参考とした。

工事名	令和8年度 橋梁補修工事(万歳橋)
図面名	交通規制図(参考図)
作成年月日	令和4年 月 日
縮尺	図示 図面番号 /
会社名	HRS株式会社
事務所名	余市町